

# 町内会未来塾

SAPPORO



町内会未来塾では、みなさんの町内会の現状や課題を「知る・見つける」ための「**スタートアップ講座**」を開催します。

また、解決につながるヒントを学ぶ**6つのテーマ別講座**も開催します。

## - 町内会未来塾の流れ -

**スタートアップ講座**

自分の町内会の特徴や課題を知る。

**6つのテーマ別講座**

テーマごとのヒントを学ぶ。

6つのテーマ別講座については裏面をご覧ください！

役員の担い手を見つけるために	若い世代と関わろう！つながろう！
テーマ型事業で関心を高める	若い人に参加してもらうために
魅力的なイベントや取組を考えよう	会計・個人情報の取り扱い

主催

札幌市市民文化局  
市民自治推進室  
市民自治推進課

町内会活動の  
ヒントとアイデア満載



# スタートアップ講座

スタートアップ講座では、札幌市の町内会をとりまく現状と課題についての講義のほか、チェックシートを使ってご自分の町内会の特徴や課題・要因を知ること、町内会の活性化につながる講座です。

先着  
**100名**

- 日時 - 平成29年

**10月1日(日)**

受付開始 12:30  
開会 13:00  
閉会 16:00

- アクセス -



地下鉄南北線「中島公園」駅 1番出口より徒歩約5分  
地下鉄東豊線「豊水すすきの」駅 6番出口より徒歩約5分

※公共交通機関でお越しくださいますようご理解とご協力をお願いいたします。  
※お車で越しの際は近隣の有料駐車場をご利用いただきますよう、お願いいたします。

- 会場 -

**市民活動プラザ星園 2階 大会議室**

札幌市中央区南8条西2丁目5-74

- 参加申込期間 - (平日 17:00 まで受付)

**8月16日(水)~9月20日(水)**

- 注意事項 -

- ・スタートアップ講座のお申込・受付は先着順となります。定員に到達次第、受付を終了いたします。お早めにお申込みください。
- ・スタートアップ講座終了後に6つのテーマ別講座の申込・受付を開始します。スタートアップ講座にご参加いただいた方を優先して受付を行いますので、各講座を受講希望の方は、ぜひご参加ください。
- ・なお、スタートアップ講座申込期間中は裏面の6つのテーマ別講座の申込は受け付けておりません。お間違いのないようお申込みください。

下記の連絡先(電話またはFAX)までお申込みください！(平日9:00~17:00受付)

お申込  
お問合せ

TEL: 011-522-5070 FAX: 011-522-5870

事務局(受託業者) 株式会社 KITABA (札幌市中央区大通東3丁目1番地倉沢ビル3階)  
担当: 松浦、小川、内匠



町内会未来塾 スタートアップ講座申込書 (FAXでお申込みの際は、こちらの申込書をご利用ください。)

代表者氏名	フリガナ	貴町内会名	参加人数 ※複数人の場合
ご連絡先	〒	TEL	FAX

※お申込みいただいた内容については、個人情報を含め、本事業にのみ使用します。

# 6つのテーマ別講座

みなさんの町内会のさまざまな課題の解決のヒントを学ぶ6つのテーマ別講座です。各回ごとに課題解決に一步近づくアイデアを持ち帰ることができます!

## 1 役員の担い手を見つけるために - 時代に合った新しい町内会へ -

役員の固定化などの課題解決に向けて、町内会のあり方を見直していきます。町内会組織としての求められる事業や体制、運営方法などについてヒントを学びます。また、参加者同士で町内会の課題と解決策を考え、自らの町内会で役立つアイデアにつながります。

会場 市民活動プラザ星園 大会議室 定員 50名

11月3日(金・祝)  
10:00~12:00

- 話題提供 -  
埜本泰隆 - フォアオス・パートナーズ  
複数企業の取締役、監査役、顧問を歴任し、顧問先の株式上場を実現するなど、ハンズオン型の経営コンサルティング業務に従事。

酒本宏 - 株式会社KITABA代表取締役会長  
まちづくりコーディネーターの傍ら、手稲区の単位町内会総務部長として町内会活動に奮闘中。

## 2 若い世代と関わろう!つなごう! - 働きかけの工夫 -

町内会の担い手を確保していくため、若い世代が町内会活動に関わるきっかけづくりや仕組みづくりなど、「活動協力員」制度で担い手育成に取り組んでいる白石区の共栄第3町内会の取組事例を聞きながら、若い世代への働きかけやそのコツなどを学びます。

会場 市民活動プラザ星園 大会議室 定員 50名

11月3日(金・祝)  
14:00~17:00

- 話題提供 -  
岩淵清宣  
- 共栄第3町内会会長 -  
子育て世代の参加を増やし将来的な役員の担い手につながる仕組みとして「地域活動協力員制度」を通して担い手確保を実践。  
活動協力員 - 共栄第3町内会 -  
共栄第3町内会で一緒に活動に取組む担い手候補の若手世代。

## 3 テーマ型事業で関心を高める - 多くのかかわりから活性化に -

これからの町内会の活性化には、『コミュニティ × テーマ』が重要となります。ターゲットに合わせたサロンやパークゴルフ、子育て支援、コミュニティカフェなどのテーマ型から活動を活性化していく方法や事例などを学びます。

会場 市民活動プラザ星園 大会議室 定員 50名

11月11日(土)  
13:00~16:00

- 話題提供 -  
喜多洋子 - NPO法人子育て支援  
ワーカーズプラチマ代表 -  
三世代交流ひろばや子ども食堂の運営など、地域と一体となったまちづくりを実施。

南ゆき - Café 自給自足 -  
コミュニティカフェの啓発やお店同士が連携したイベントの開催など、カフェから縁につなげる取組を積極的に実施。

## 4 若い人に参加してもらうために - 効果的な情報発信 -

町内会活動に若い世代に参加してもらうために、若い人の興味・関心を惹くためのヒントやLINEやFacebookなどのSNSを活用した効果的な情報発信のツール、方法などについて学びます。また、参加者同士で意見交換をしながら町内会の情報を楽しく伝えていくアイデアを考えます。

会場 市民活動プラザ星園 大会議室 定員 50名

11月25日(土)  
13:00~16:00

- 話題提供 -  
橋本あや - 輔スイッチ -  
広告、イベント、コンテンツ制作など多岐にわたるデザインを実施。  
さまざまな世代に訴えかけるデザインに加え、SNSを活用した情報発信や広告のアドバイスなど、ターゲットにあった情報発信を行っている。

## 5 魅力的なイベントや取組を考えよう - まちづくりのレシピを参考に -

札幌市で発行している「まちづくりのレシピ」を参考に、町内会活性化に向けたさまざまな取組を紹介し、また、厚別区青葉地区での実践事例やビジョンづくりなど具体的な話題提供からヒントを学び、魅力的な取組などを考えます。

会場 市民活動プラザ星園 大会議室 定員 50名

12月2日(土)  
13:00~16:00

- 話題提供 -  
土田義也  
- 青葉市連合会会長 -

地域の高齢化が進む中で、小学校と連携した地域活動を展開。平成26年は地域交流学习参観日など、地域と子どもが関わる数多くの行事に取り組んでいる。

## 6 会計・個人情報の取り扱い - 知って安心、公正な町内会へ -

町内会運営に必要な会計や監査の知識、個人情報の取り扱い、コンプライアンスなどについて弁護士からわかりやすくお話していただく講座です。町内会運営の基礎的な知識を学ぶことができます。

会場 札幌エルプラザ ホール 定員 320名

1月28日(日)  
13:00~15:00

- 話題提供 -  
福田弁護士・石塚弁護士  
- 札幌総合法律事務所 -  
他分野において会計監査組織再編、事業再生等のコンサルティングなど、経営全般にわたる業務などに従事。また、個人情報保護なども含め、連合町内会および単位町内会の運営上の法律相談も実施。

参加申込受付期間 **10月2日(月)~** 各講座開催日の**10日前まで**

### - 注意事項 -

- ・テーマ別講座のお申込・受付は**先着順**となります。定員に到達次第、受付を終了いたします。お早めにお申込みください。
- ・裏面のスタートアップ講座受講者を優先して受付を行います(受講していない方でもお申込みいただけます)。
- ・町内会役員の方だけでなく、一般の町内会の会員の方もお申込みいただけます。

- アクセス - ※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。



市民活動プラザ星園  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74

札幌エルプラザ  
札幌市北区北8条西3丁目

下記の連絡先(電話またはFAX)までお申込みください! (平日9:00~17:00受付)

お申込お問合せ **TEL: 011-522-5070 FAX: 011-522-5870** 事務局(受託業者)株式会社KITABA 担当: 松浦、小川、内匠

町内会未来塾 6つのテーマ別講座申込書 (FAXでお申込みの際は、こちらの申込書をご利用ください。)												
代表者氏名	フリガナ					貴町内会名						
ご連絡先	TEL					FAX						
講座番号	人数	1	人数	2	人数	3	人数	4	人数	5	人数	6
希望の講座の□に参加人数をご記入ください。		若い人に参加してもらうために		魅力的なイベントや取組を考えよう		若い世代と関わろう!つなごう!		テーマ型事業で関心を高める		役員の担い手を見つけるために		会計・個人情報の取り扱い

※お申込みいただいた内容については、個人情報を含め、本事業にのみ使用します。

---

# 町内会未来塾 スタートアップ講座

---

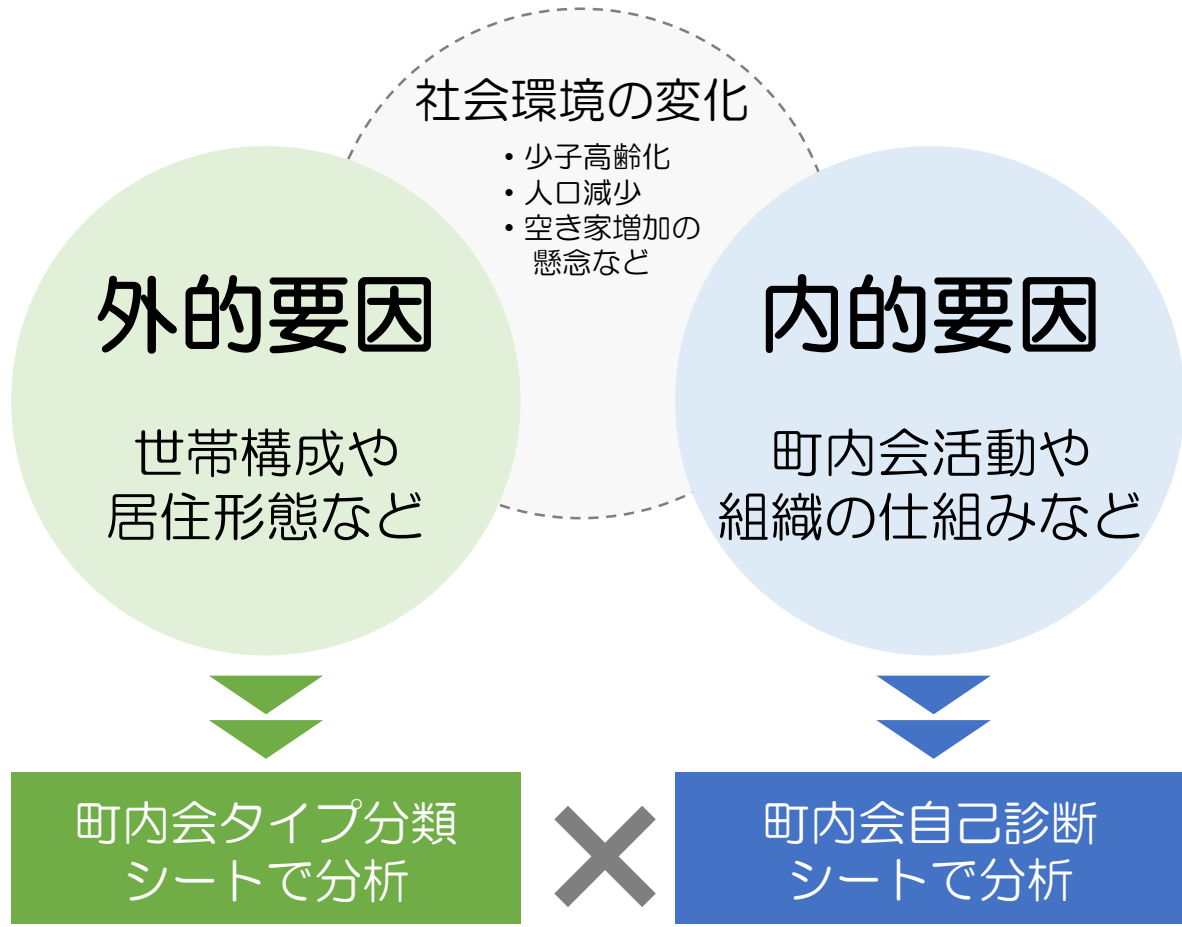
平成29年10月1日（日）  
13：00～16：00

# 町内会のタイプ別の課題分析にあたって

ご自身の町内会のタイプを分析し、それぞれのタイプの特徴や課題、その要因に気づくことが、町内会活性化の第一歩です。

町内会の課題のタイプには、世帯構成や居住形態が関わる「外的要因」と、町内会活動の状況や組織の仕組みが関わる「内的要因」の2種類に大きく分けることができます。

本日は、「外的要因」と「内的要因」の2種類どちらも分析することで、課題を明確化します。今後は、それぞれの課題に合ったテーマ別講座を受講して、解決のヒントを探りましょう。



本日

2つの視点からご自身の町内会の課題に気づき、解決のヒントを考えましょう！

11月以降

今後は、それぞれの課題に合ったテーマ別講座を受講して実践につなげましょう。

# 町内会タイプ分類シート

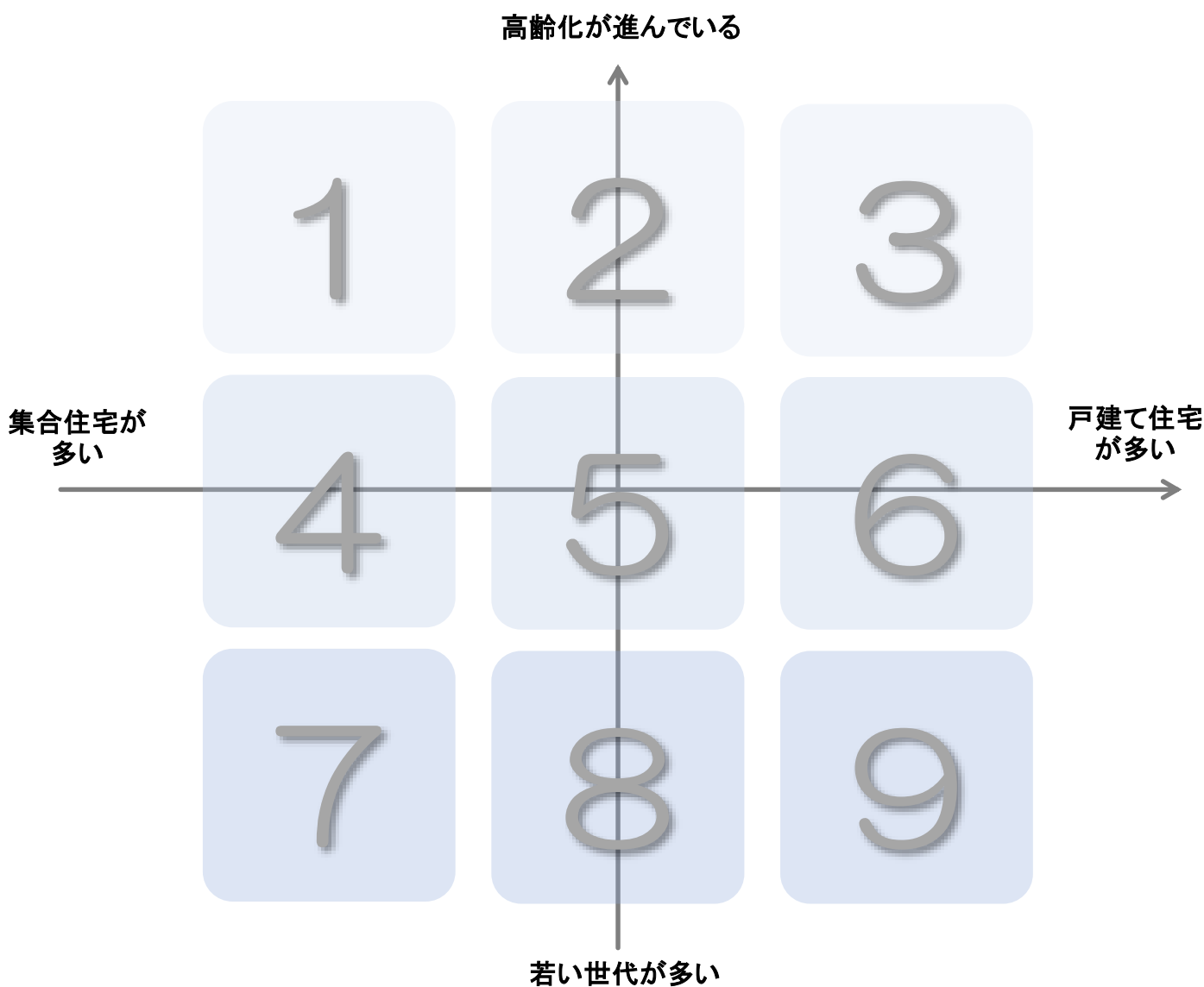
町内会は、世帯構成や居住形態、立地特性、人口移動の状況、設立など、地区の特性によってさまざまなタイプに分かれます。

まずは、ご自身の町内会の主な居住形態と世帯構成による分類し、その中でも地区特性ごとに町内会のタイプを導き出します。

導き出されたご自身の町内会のタイプについて、課題や特徴を見つめなおしましょう。

## ■ステップ1 ～世帯構成と居住形態で分類～

ご自身の町内会の世帯構成と主な居住形態から、下図1～9の当てはまる場所を確認し、目印をつけましょう。当てはまる場所が、あなたの町内会の立地的特性です。

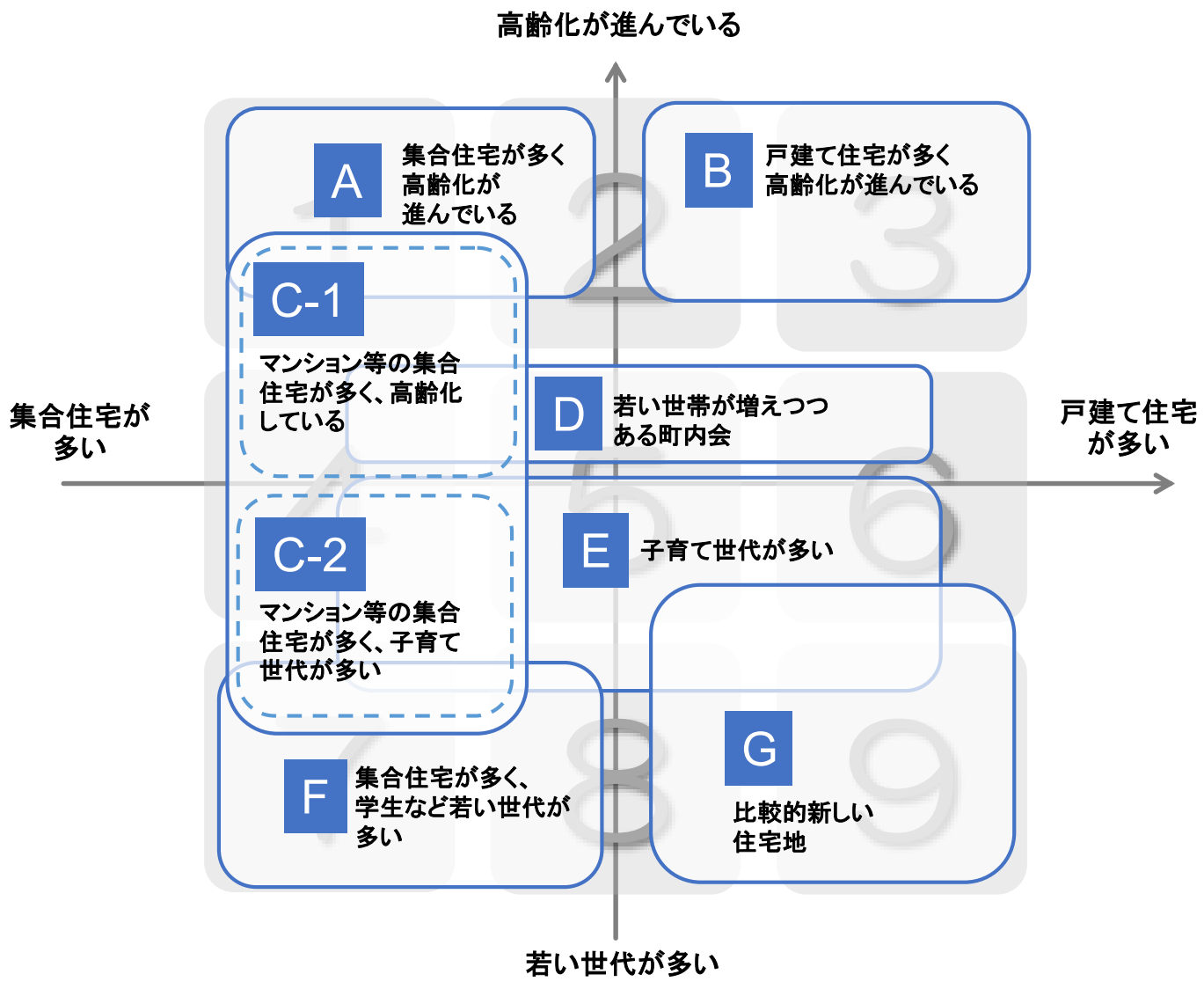


ご自身の町内会の現状は、1～9のどれに当てはまりますか？右欄にご記入下さい。

# 町内会タイプ分類シート

## ■ステップ2 ～ステップ1の分類結果から町内会のタイプを導く～

ステップ1で導き出した1～9の立地的特性には、大きくA～Gのような特徴の分類が考えられます。1～9に重なるアルファベットを確認しましょう。※A～Gは複数当てはまる場合があります。



<b>A</b>	集合住宅が多く、高齢化が進んでいる町内会	<b>E</b>	子育て世代が多い町内会
<b>B</b>	戸建て住宅が多く、高齢化が進んでいる町内会	<b>F</b>	集合住宅が多く、学生など若い世代が多い
<b>C</b>	マンション等の集合住宅が多い町内会	<b>G</b>	比較的新しい住宅地で発展途上の町内会
<b>D</b>	住み替え等により若い世代が増えつつある町内会		

ステップ1で出した1～9の数字に重なるアルファベットは何ですか？右欄にご記入下さい。※複数のアルファベットが当てはまる場合は、全てご記入下さい。

# 町内会タイプ分類シート

## ■ステップ3 ～町内会タイプ別の特徴や課題を確認する～

ステップ2で当てはまったA～Gのタイプについて、特徴や課題と想定される要因を確認しましょう。これらの課題からご自身の町内会に当てはまるものがあれば、解決のアイデアを考えましょう。

主な町内会タイプと特徴、現象		主な課題と想定される要因	
A	<p>集合住宅が多く、高齢化が進んでいる町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られたメンバーで町内会を運営している</li> <li>住民同士の交流機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会への関心が薄い</li> <li>活動に対する負担が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会のPR不足</li> <li>組織運営の固定化</li> </ul>
B	<p>戸建て住宅が多く、高齢化が進んでいる町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戸建てが多い地域に多く、住民同士の交流は比較的多いが、新しい人の参加は少ない</li> <li>町内会活動が困難になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に対する負担が大きい</li> <li>活動の停滞</li> <li>役員の担い手がいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代への働きかけが少ない</li> <li>固定的・閉鎖的な組織</li> </ul>
C	<p>マンション等の集合住宅が多い町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C-1: 単身高齢者との交流の機会が少なく、見守りが困難になっている</li> <li>C-2: 戸建てエリアよりも住民同士の交流が少なく、育児中の母親が孤立しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会への関心が薄い</li> <li>町内会について知らない</li> <li>住民同士の交流が希薄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会のPR不足</li> <li>住民・会員との接点不足</li> <li>参加のきっかけ不足</li> </ul>
D	<p>住み替え等により若い世代が増えつつある町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古い地域に若い人が流入し、若返りが進んでいる</li> <li>古くからの住民と転入者の交流が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新住民と町内会の関わりがきつけない</li> <li>若い世代が参加しづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会のPR不足</li> <li>参加のきっかけ不足</li> <li>ニーズに合った活動がない</li> </ul>
E	<p>子育て世代が多い町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事や子育てに忙しい住民が多い</li> <li>子どもを通じた親同士の交流が活発</li> <li>子ども向けの行事の関心や参加率が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会への関心が薄い</li> <li>活動の担い手が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定的・閉鎖的な組織</li> <li>現役世代の参加への配慮が少ない</li> </ul>
F	<p>集合住宅が多く、学生など若い世代が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者や学生が多く、地域交流が少ない</li> <li>人の流動が激しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会への関心が薄い</li> <li>住民の顔が見えない</li> <li>活動の参加者が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会のPR不足</li> <li>住民・会員との接点不足</li> <li>参加のきっかけ不足</li> </ul>
G	<p>比較的新しい住宅地で発展途上の町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代が多い</li> <li>町内会運営の基礎固めの段階</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会運営の基礎知識の不足</li> <li>住民との情報共有不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会に関する情報不足</li> </ul>

※立地特性によるA～Gのタイプの中でも、特徴は複数該当する場合があります。

# 町内会自己診断シート

ご自身の町内会の課題や現状について、分析してみましょう。ア～エの各設問を読み、当てはまる項目にチェックをつけて下さい。

ア	若い世代に向けて、あまり積極的に町内会の情報を発信していない	
	町内会未加入者に向けて、あまり積極的に町内会の情報を発信していない	
	住民に向けて、町内会の役割や必要性について、あまり積極的に情報発信をしていない	
	若い世代への有効な情報発信の方法がわからない	
	SNSなどで町内会会員と情報交換・情報発信をしてみたい	
	合計	

イ	何年間も同じ行事を同じ手法で行っている	
	事業に対する住民のニーズを把握していない	
	行事などの企画に、新しい人が参加していない	
	新しい企画のアイデアがほしい	
	参加してもらいたい住民の層と、実際に参加している住民の層にギャップがある	
	合計	

ウ	未加入者への呼びかけを、あまり積極的に行っていない	
	事業に若い世代の参加があまりない	
	若い世代との接点が少ない	
	未加入者や若い世代がどこにいるのか把握していない	
	若い世代に参加してもらいたいが、どのようにアプローチすれば良いのかわからない	
	合計	

エ	役員の担い手不足に悩んでいる	
	5年以上同じ人が役員を務めている	
	若い人の町内会に対する意見を反映する機会がない	
	特定の役員に負担が偏っている	
	役員の高齢化が進んでいるため、若い住民に世代交代したい	
	合計	

ア～エのうち、最もチェックの数が多かったものはどれですか？右の欄にご記入下さい。

# 町内会自己診断シート

## ■町内会診断結果

### アが多い 町内会の場合

住民に向けた情報発信を、今後更に積極的に行うとよいかもしれません。特に、若い世代にはインターネットを活用したSNSなどでの発信やチラシのデザインの工夫などで、住民の町内会に対する関心の向上につながることも！また、居住形態によっても有効な発信方法はさまざまです。

★オススのテーマ別講座→④

### イが多い 町内会の場合

町内会の行事をより魅力的にするため、参加してもらいたい世代の興味あるテーマを設定したり、住民のニーズに沿って企画するとよいかもしれません。また、地域住民はもちろん、地域内にある学校や施設などと連携して、行事のバージョンアップや新たな企画を考えるのもよいかもしれません。

★オススのテーマ別講座→③⑤

### ウが多い 町内会の場合

未加入者へのアプローチを行ったり、若い世代との関わりの機会を増やすと、加入率の向上や将来的な担い手確保につながるかもしれません。また、町内会活動の見える化の取組により、加入率や活動への参加率が上がることもあります。

★オススのテーマ別講座→②

### エが多い 町内会の場合

役員の任期制の導入や役員の役割の見直しなど、町内会組織や仕組みの見直しを行うことが、将来的な担い手確保のはじめの一步です。また、役員の役割や町内会の重要性が知られていない場合もあるため、まずは住民に知ってもらうための情報発信もひとつの方法です。

★オススのテーマ別講座→①

※上記の結果を、受講するテーマ別講座をお選びになる際の参考にして下さい。

## ■テーマ別講座一覧

11/3	①役員の担い手を見つけるために ～時代に合った新しい町内会へ～
11/3	②若い世代と関わろう！つながろう！～働きかけの工夫～
11/11	③テーマ型事業で関心を高める～多くのかかわりから活性化に～
11/25	④若い人に参加してもらうために～効果的な情報発信～
12/2	⑤魅力的なイベントや取組を考えよう～まちづくりのレシピを参考に～
1/28	⑥会計・個人情報の取り扱い～知って安心、公正な町内会へ～

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for writing the content of the memo.

町内会未来塾スタートアップ講座

町内会を元気に

～町内会課題解決のヒント～

2017.10.1

株式会社KITABA 酒本 宏



## プロフィール

### • 酒本 宏（さけもと ひろし）

- 株式会社KITABA 代表取締役会長
- 札幌市出身・北見工業大学卒業
- 技術士（都市及び地方計画部門・総合監理部門）
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー

#### プロジェクト（市民自治・コミュニティデザイン関連のみ）

- 2005年 札幌市市民活動促進条例策定支援
- 2006年 札幌市自治基本条例に関連した子どもワークショップ
- 2007年 「区民協議会のあり方等に係わるアドバイザー会議」運営業務  
東区まちづくり参加入門講座コーディネーター
- 2008年 市民まちづくり活動基本計画策定支援
- 2009年 市民による集中評価会議コーディネーター
- 2011年 まちづくりセンター機能PRによる市民活動促進事業
- 2012年 地域力強化に向けた総合サポート事業企画運営業務
- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営 など
- 2014年～ まちづくりセンターアドバイザーとして町内会活性化などの講演多数

#### 著書

- 道の駅／地域産業振興と交流拠点 編集・共著
- 「集落営農」／農山村の未来を拓く 共著
- 「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略 共著
- 「エコタウン」が地域ブランドになる時代 共著
- 農産物直売所／それは地域との「出会いの場」 共著
- 「村」の集落ビジネス 中山間地域の自立と産業化 共著 など

# 1. みなさんの町内会では？



マンションや賃貸集合住宅が  
町内会に加入してくれない



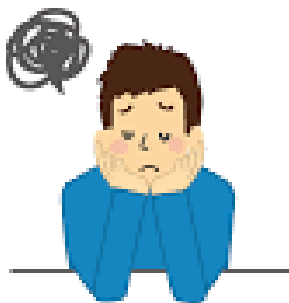
子育てのことで気軽に  
話しができれば



空き家が見られる  
ようになってきた



子供たち  
近所の目があれば



町内会の役員の  
担い手がいない

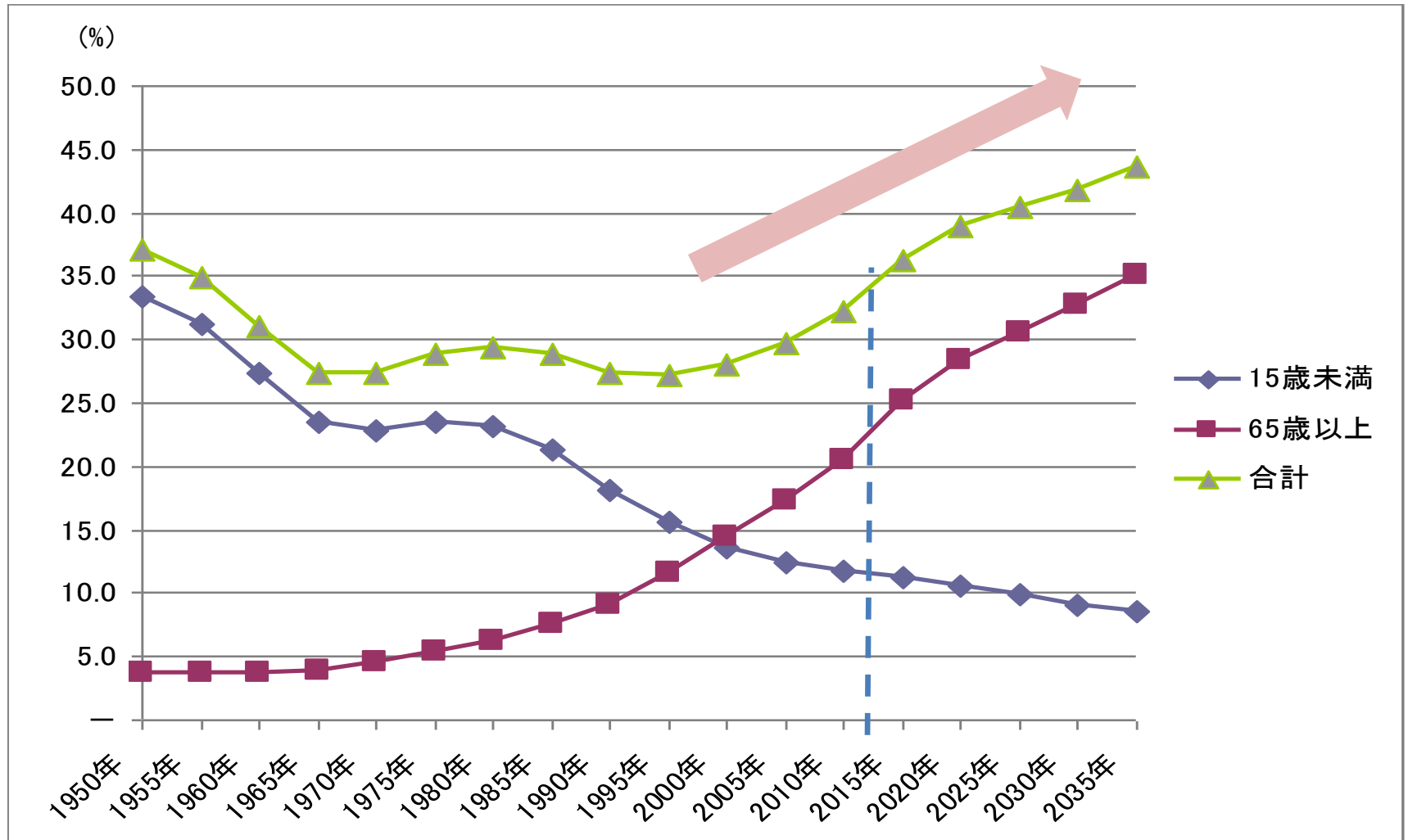


高齢者の見守りが必要になってきた

ワンルームマンションの若者  
仕事と部屋の往復  
SNSではつながっているけど

# コミュニティの力が必要な時代

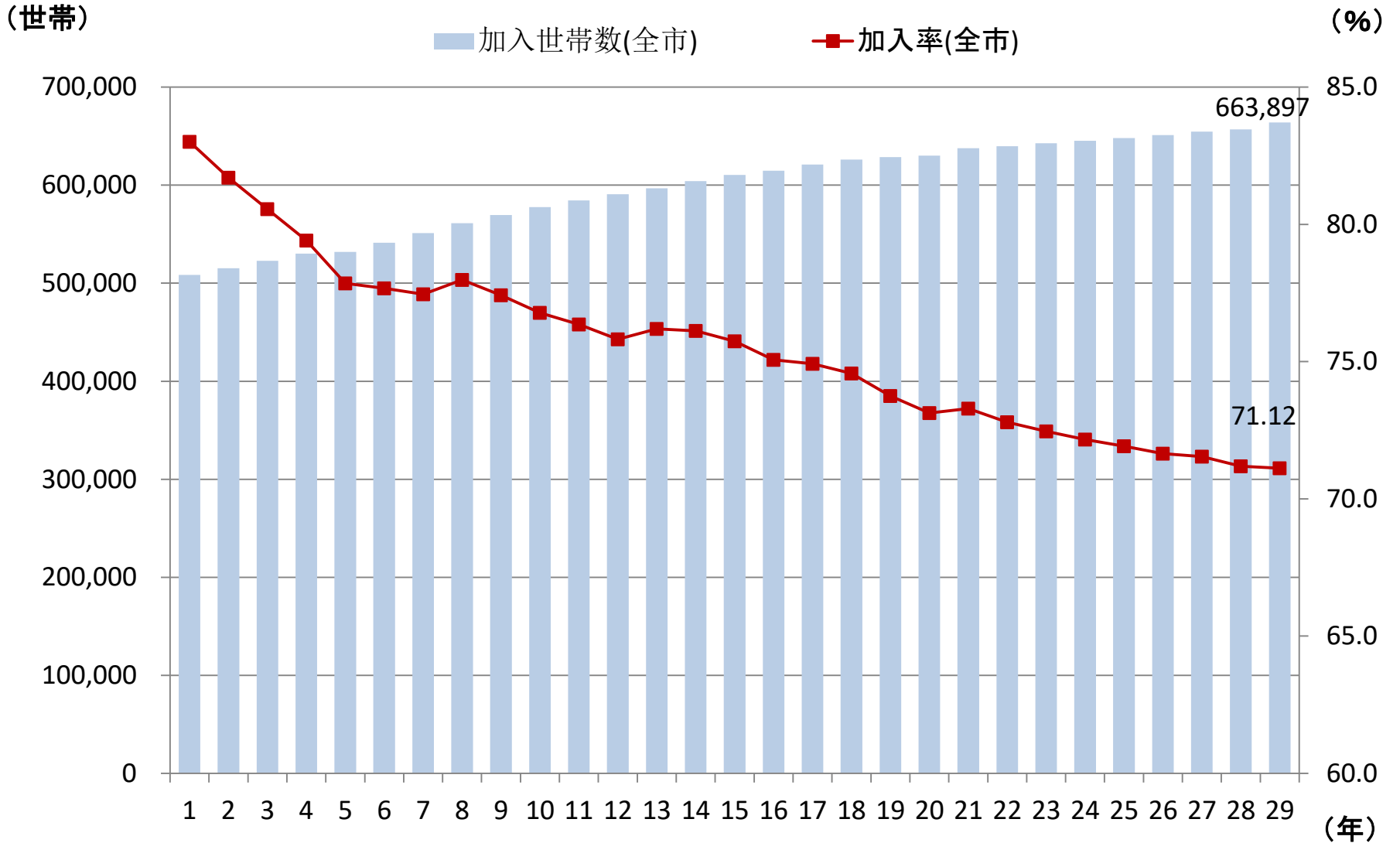
札幌では1995年頃から地域コミュニティの力が必要な高齢者と子どもが増加しています



(出所)札幌市  
札幌市の人口-平成22年国勢調査(人口等基本集計)結果報告書-  
札幌市将来人口の推計

# 札幌市の町内会の現状

町内会への加入世帯数は増加傾向にあるものの、加入率は低下傾向にあります。



# 町内会を取り巻く社会環境の変化と課題

賃貸住宅  
マンションなど  
の未加入

高齢化に伴う  
課題

地域での  
子育て支援の  
必要性

担い手不足

空き家の  
増加

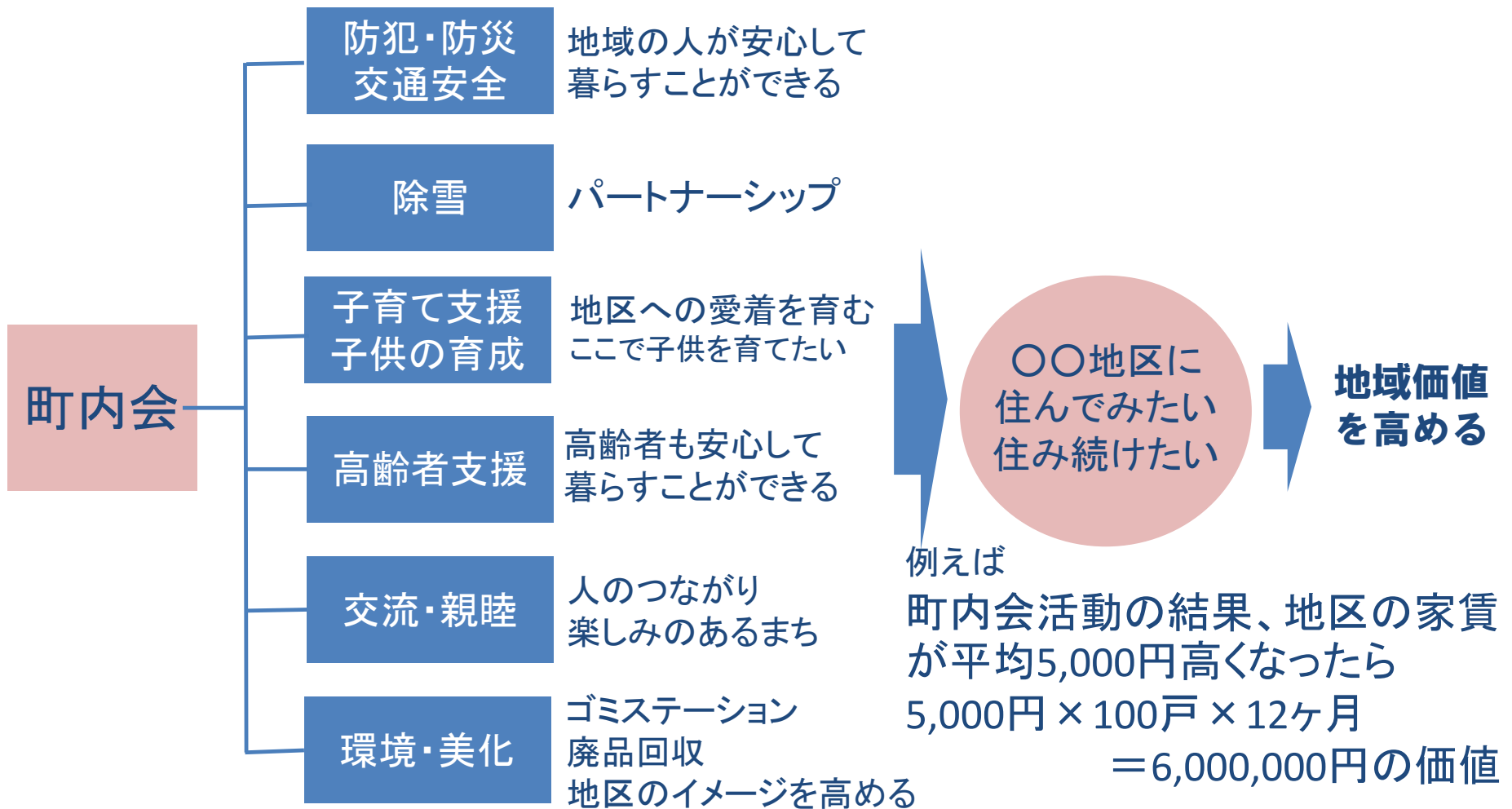
SNSの普及

安心安全  
防災

個人情報の  
厳格化

## 2. 町内会活動の必要性・・・町内会（活動）の価値

- 町内会は、暮らしを支える組織であり、その活動は地区の価値を高めます。



### 3. 元気な町内会に向けたSTEP

#### 本日の主な話題



町内会を取り巻く環境・町内会の必要性・価値

元気な町内会に向けた

STEP1

住民の意向・町内会の現状を  
把握しましょう

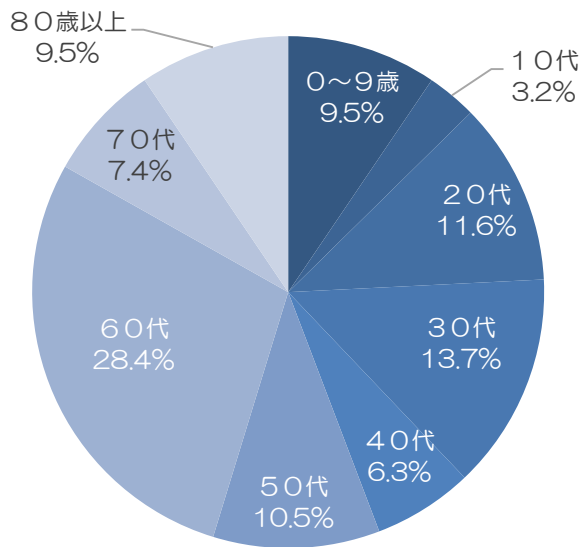
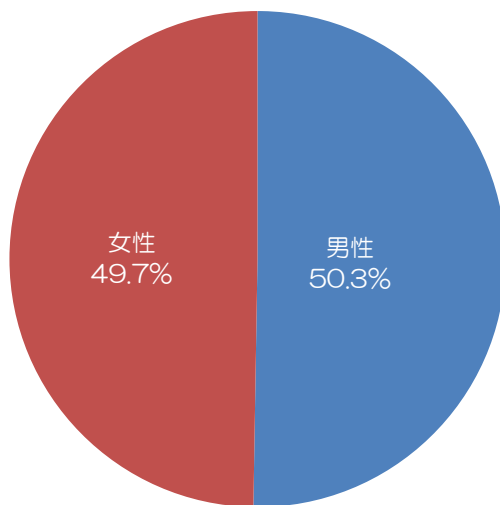
# アンケート調査の実施

## 手稲区のある単町

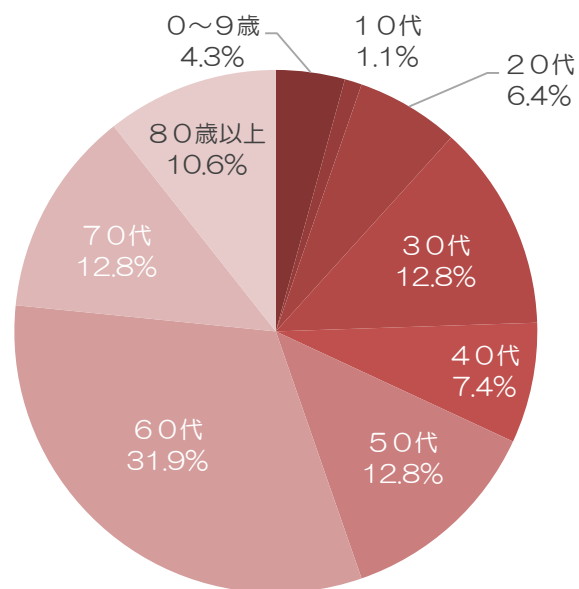
- 長年活躍された会長が引退
- 役員の担い手が見当たらない
- 除雪費が赤字
- 行事の参加者が減少

# 回答者属性(町内会加入の74世帯より回収)

## 性別

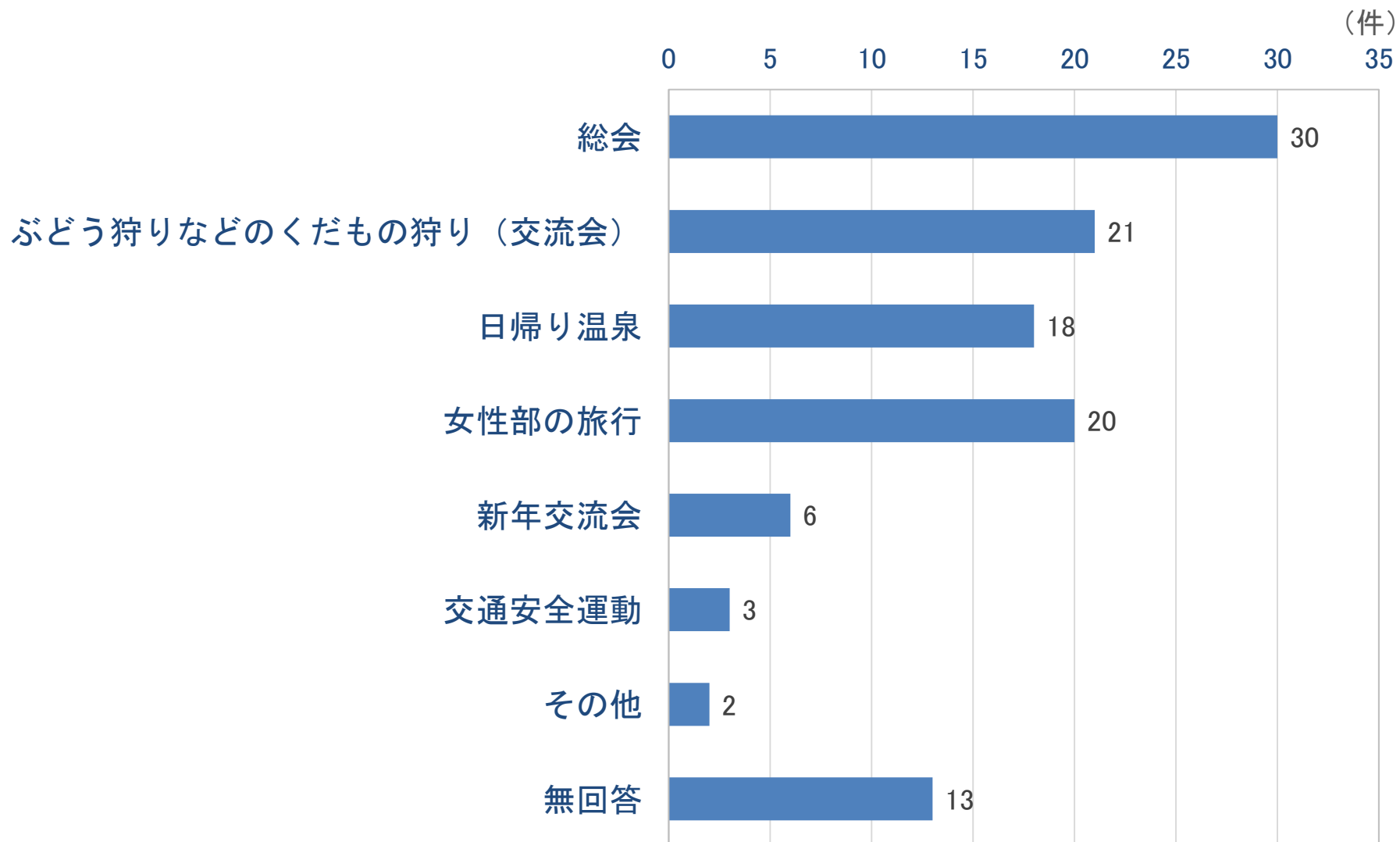


## 性年代別: 男性

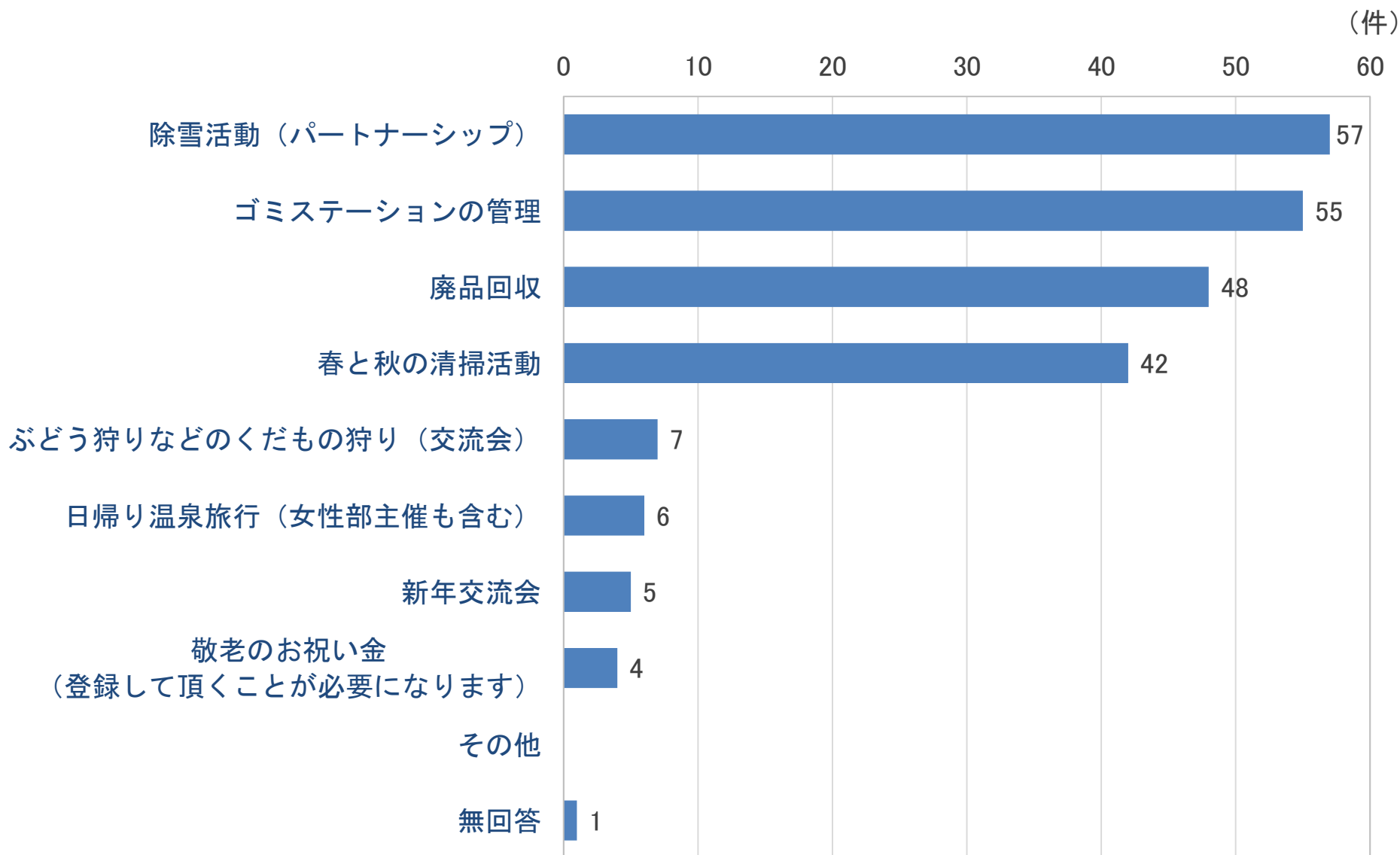


## 性年代別: 女性

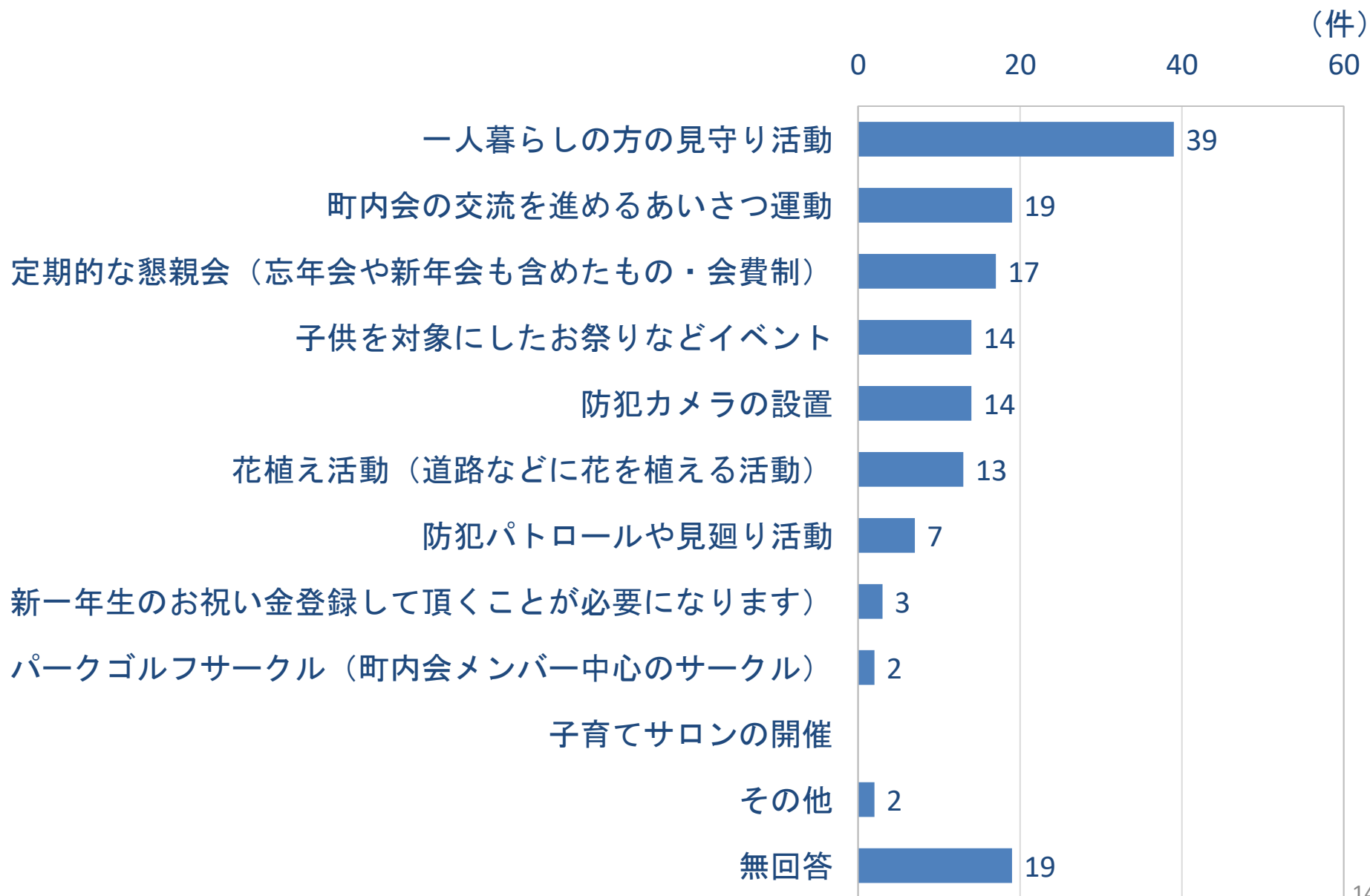
## ■設問① ここ3年間で参加したことがある行事



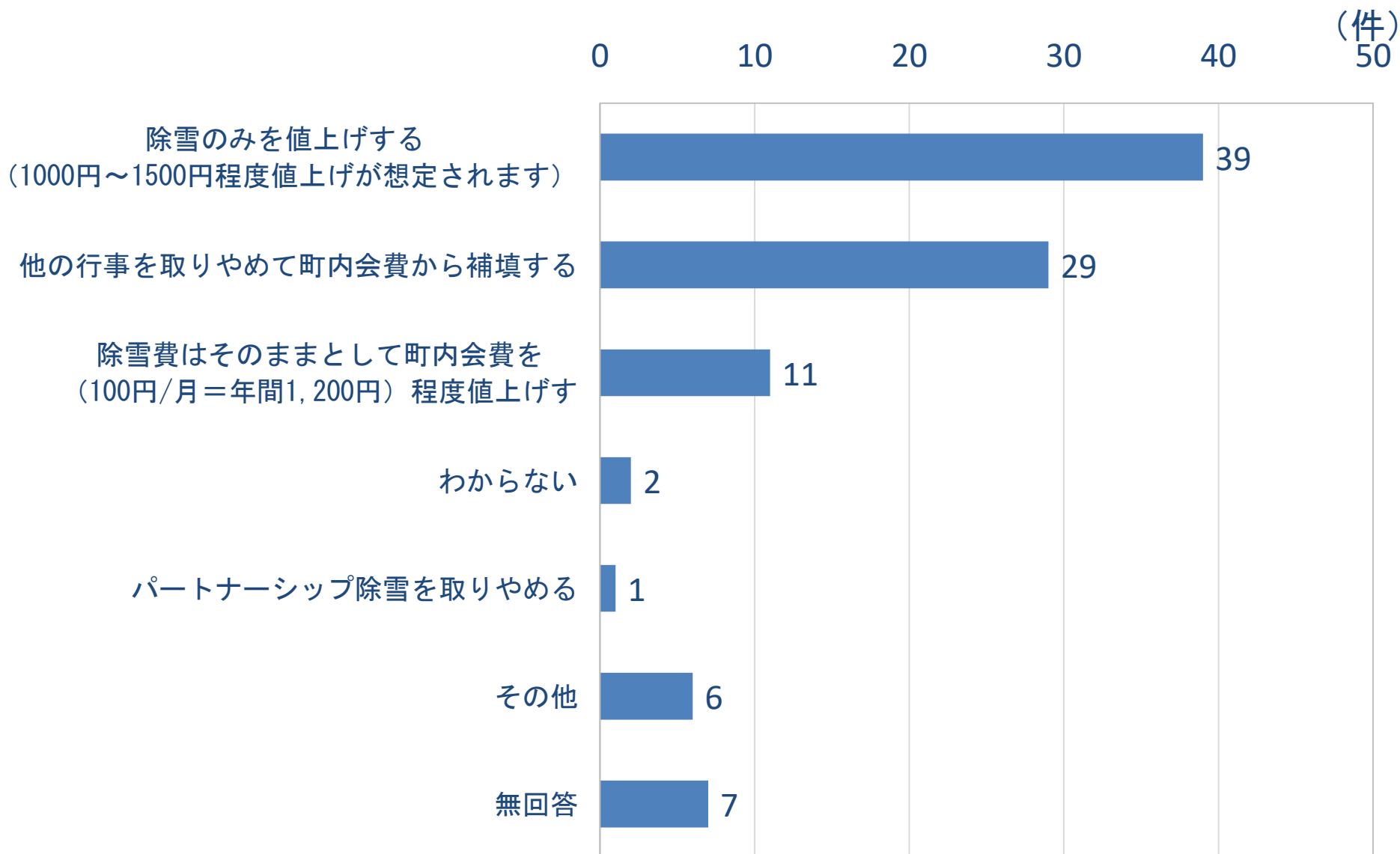
## ■設問② 現在の町内会の行事・活動として重要と思われるもの



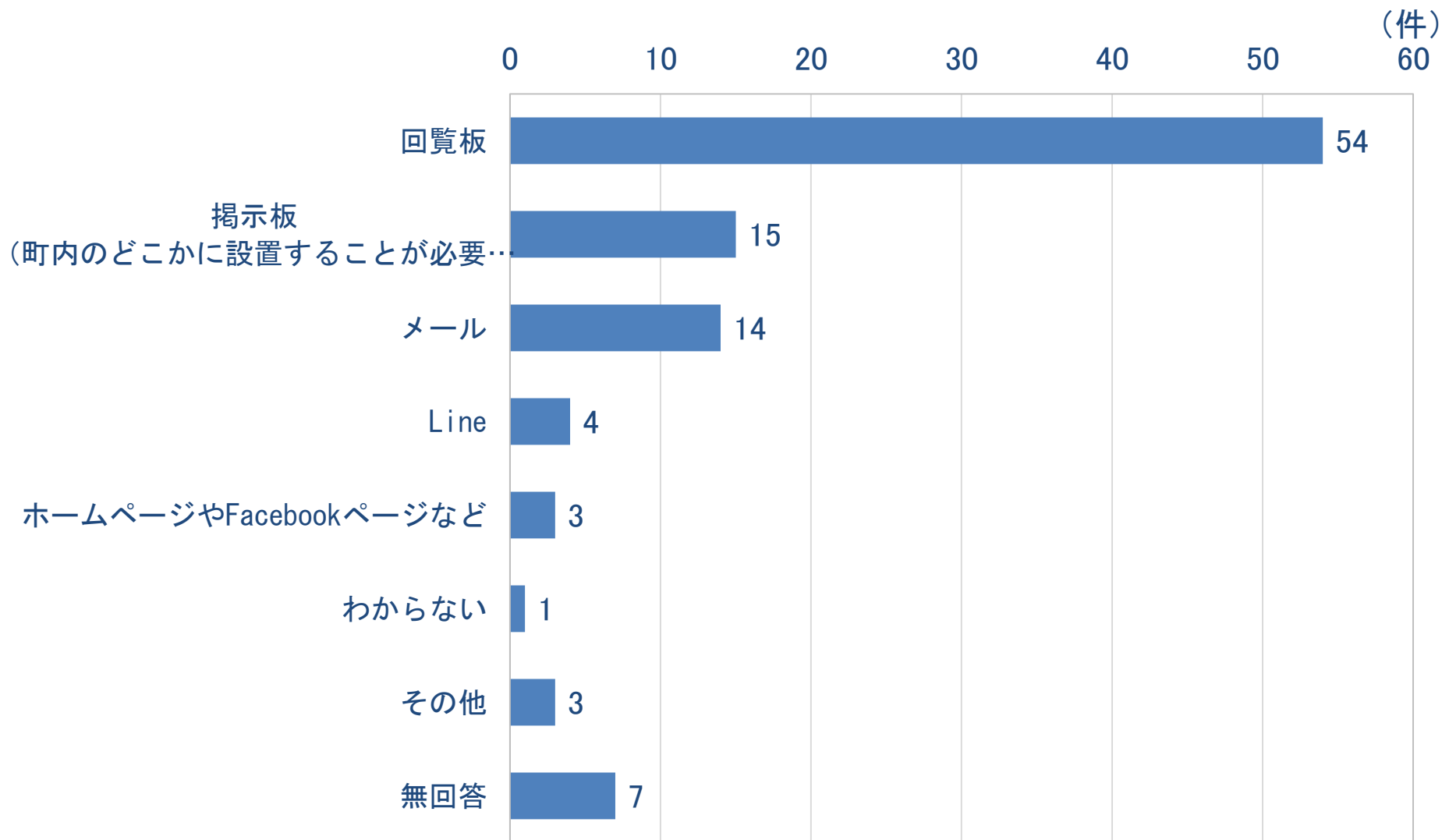
### ■設問③ 今後、町内会で行った方が良いと思われる活動



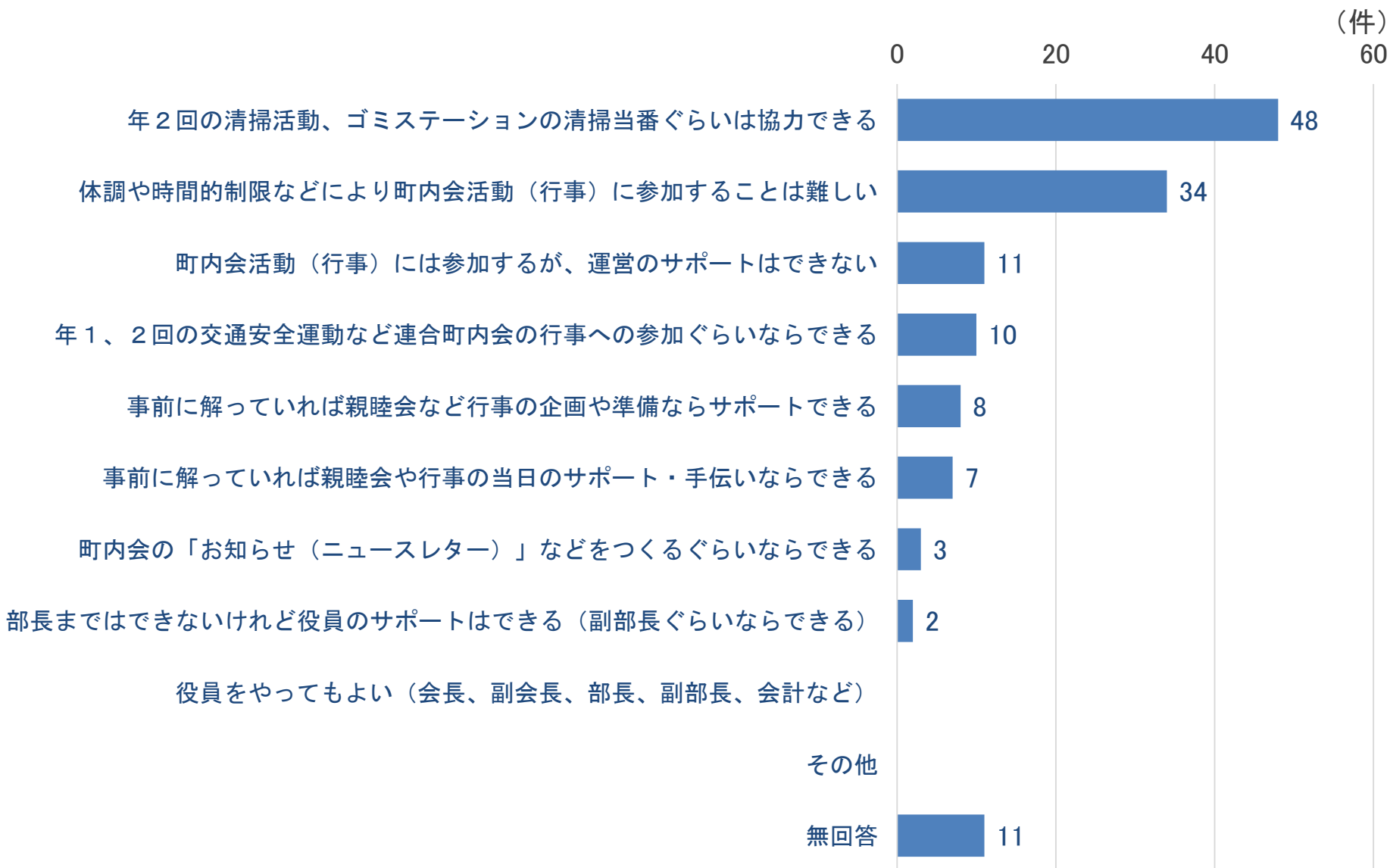
## ■設問④ パートナーシップ除雪の赤字解消のために良いと思う手段



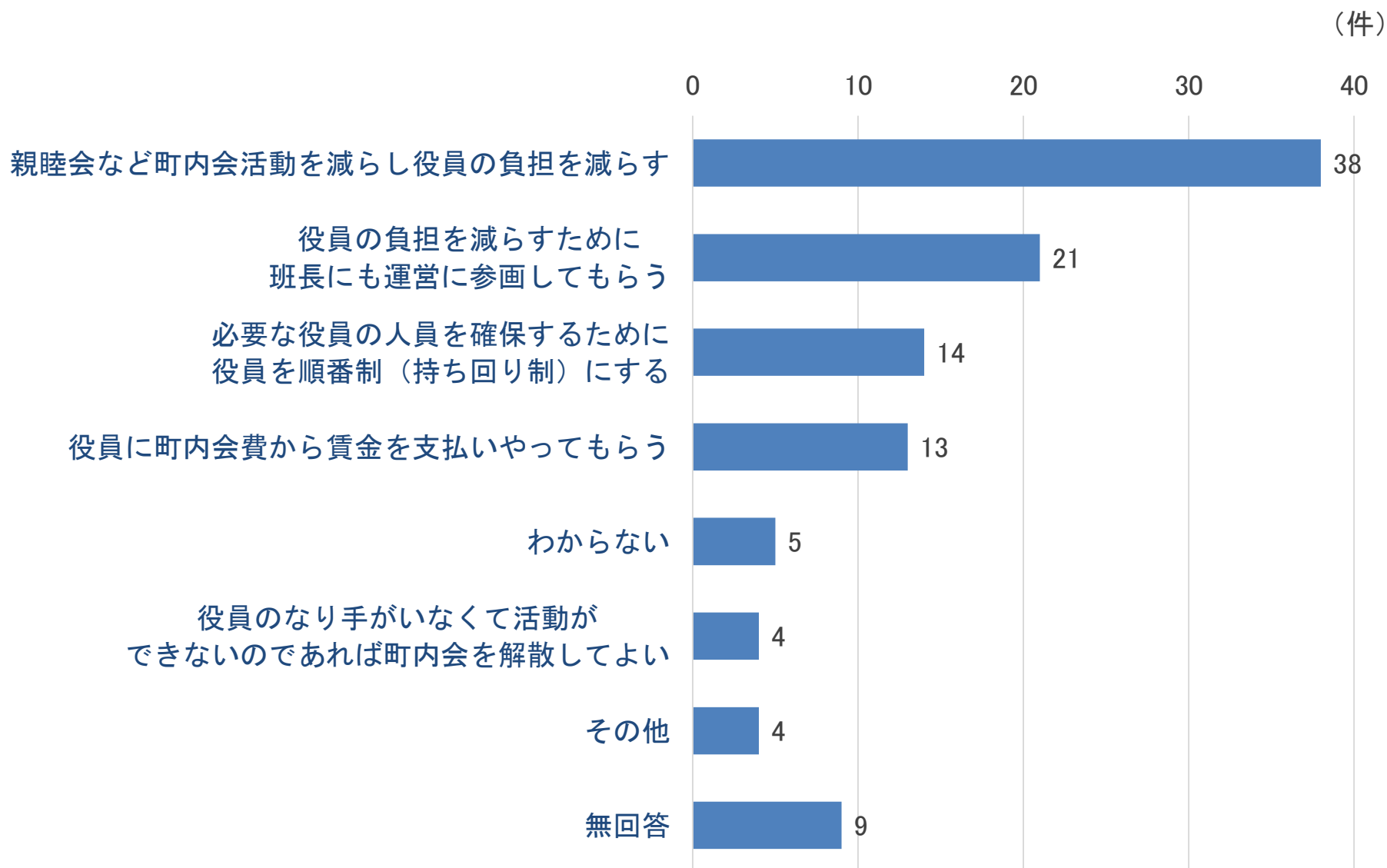
## ■設問⑤ 町内会の情報を伝える方法として便利だと思う手段



## ■設問⑥ 町内会活動の参加・サポートの可能性



## ■設問⑦ 町内会の役員の担い手を確保するための方法



元気な町内会に向けた  
STEP2

## 町内会の情報発信

加入促進・担い手確保にも  
まずはこれから

# 町内会の情報を発信しましょう！（見える化）

- 担い手となってもらいたい世代が関心のあるテーマを届くように発信することが何より重要です。  
若い世代に元町の良さを発信し、元町を知ってもらって愛着につなげましょう。
- 町内会・まちづくり協議会の活動を知ってもらう。
- 発信するのは、高校生や大学生に任せましょう



元町はみんなが  
そっと見守る高齢者も  
子供も安心できるまち



Instagram



子育てするなら元町



元町は人と出会いがある  
あったかいまち

## 親栄町内会

私たちの町内会では  
地域に住むみんなが暮らしやすい  
環境づくりのために  
様々な取組を行っています

地域でのつながりの輪をひろげませんか



### 町内会があるって、意外とシアワセだったり

暮らしやすい地域にするための活動には  
地域にお住まいの方のチカラが必要です  
町内会にぜひ加入ください  
新しいつながりがみつかるとかも

町内会費(月額)  
持家世帯 400円  
借家世帯 250円

# Facebookページの作成(清田区ライブヒルズ町内会)

- 町内会の新たな情報発信としてFacebookページを作成。
- Facebookによる広報に、高校生ボランティアを任命にイベント行事などの情報発信を行っている。



## ママトモLINEグループ（清田区北野まきば町内会）

- ・ママさんたちのゆるやかなコミュニティでLINEグループを作成。
- ・地域のお知らせや町内会行事のお手伝い募集などの連絡ツールになっている。



元気な町内会に向けた

STEP3

加入促進

# 町内会の活動の必要性を知ってもらう



**交通安全  
防犯**

敷地から外の防犯は  
町内会が担っている

**子育てサロン・食育イベント**



**地域の茶の間**



**公園の清掃・花植え**

高齢者の孤独死

悩みを抱える子育て世代

**道路の清掃・花植え  
除雪(パートナーシップ)**



**お祭り・イベントの開催**

マンション管理組合  
マンションの建物・敷地管理運営





元気な町内会に向けた

STEP4

町内会の担い手確保・参加

# 担い手不足の主な要因

外的要因

個人的要因

会員側の要因

組織的要因

# みなさんの町内会では？

加入率が低下  
担い手が不足



役員の負担が大きい  
手当や特典がない  
役員は多忙

参加しにくい雰囲気  
仲間内のイメージ  
固定化・閉鎖的な組織

町内会は何をしているか  
わからない



地域・人と関わりたくない  
必要性を感じていない  
無関心

時間的制限(働いている)  
参加のきっかけがない

# 町内会の担い手の確保のポイント

## 5つのポイント

- ①組織の体質改善
- ②町内会の役員の壁を低く
- ③小さな交流
- ④担い手探し
- ⑤ニーズにあった新しい企画から

## ①組織の体質改善

こんな町内会はありませんか？

- 役員同士の絆が強い・仲が良すぎる
- 役員の任期が長い
- 役員会は平日の昼間が多い
- 新しいことはあまりやらない
- 行事は主に高齢者を対象にしている



体質改善が必要では  
残念ながら担い手は現れません

## ②町内会役員の壁を低くしましょう

### • 役員任期のルール

- 役員の任期を決め、入れ替わる環境をつくりましょう。
- 持ち回りルールなどで役員を経験してもらうことが大切です。

### • 町内会役員マニュアルづくり

- 新たな人が役員になっても良いようにマニュアルをつくりましょう。
- マニュアルをつくることで、町内会の見える化が進みます。

### • 役員複数制

- 役員の負担を軽減するために役員の複数制で代替わりがしやすいようにします。
  - 例えば総務部長も3名(親睦、会計、総会…)
- 前任者と新役員が重複する期間を設けることができ、精神的負担が軽くなります。

# 町内会マニュアル・役員マニュアルの作成

知れぬ

千 穂  
環 第 3  
町 内 会

その仕事に慣れてくれば  
私が知っている事や知識が伝わり始められ  
いつか、私がやる  
時には「慣れたら自分もやってみよう」  
町内会の仕事に慣れてくれば自分もやってみよう

## 町内会役員のお仕事Q

みなさんが暮らす千穂環第3町内会では、「暮らしを安心・安全に支えたい」とを目的として、地域のみながが連携し、そして楽しく暮らすことができるように、住民同士の交流や地域の輪を広げるためにさまざまな活動を行っています。

このように「暮らしを支える活動」と「定例会はよくむかぶくらの活動」は、町内会の運営を中心として展開している活動が、みなさんの協力や参加によって実現されています。

町内会役員の仕事は、みなさんに必要なことばかりではありません。みなさんの協力や参加によって実現されています。

**知ってますか？町内会の役員**

千穂環第3町内会では、7つの部に分かれています。

総務部	会計部	環境部	事業部	防災部	女性部	福祉部
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

- ・役員の仕事内容を知ってもらうためにマニュアルを作成。
- ・作成と同時に、役員の仕事内容を見直し(棚卸し)も行うことができる。

**各部の役員は、こんなお仕事をしています！**

役員の仕事は、日々、地域に目を向けながら行っていること、定期的に行っていることがあります。もちろんイベントや行事の企画・運営も行っています。

	総務部	会計部	環境部	事業部	防災部	女性部	福祉部	
<b>日ごとに行っていること</b>	<p>駅北コミュニティプラザに置く町内会用品のお知らせなどを確認して、回収の仕方、準備を行っています。</p>	<p>町内会費の管理や物品購入の支出、滞りの管理をしています。出張費などの差額もしっかりと把握しています。</p>	<p>ゴミステーションの資材の確保などチェックしています。</p>	<p>日ごろの子どもの安心を守るため、夏祭り活動を行っています。</p>	<p>町内の危険箇所を確認や、冬期間の消火栓の高枝や除雪を行っています。防災・防火のバトロールもしています。</p>	<p>日ごろの高齢者の見守りを行っています。個人情報等の適切な管理も行っていきます。</p>		
<b>定期的に行っていること</b>	<p>役員会や総長会議を開催しています(月1回) 年度当初に役員名簿を作成します(更新もしています)</p>	<p>イベントがあるときには、その支出管理も行っています</p>	<p>年に3回、町内の公園や飯田川の一斉清掃を行っています。</p>	<p>「みんなで遊ぼう夏祭り(8月)」の企画運営では、事前に会議を行い、企画や準備を行っています。</p>	<p>役員会と総長会議(月1回)に参加して会議の準備などを平伝っています。</p>	<p>レクリエーションの企画やイベントの手配もしています</p>		

**イベントや行事は、部が連携して取り組んでいます！**

「みんなで遊ぼう夏祭り」をはじめとして、地域のみなさんの親睦交流のイベントや行事は、各役員が連携して取り組んでいます。それぞれが役割を担いながら、協力して行っています。たくさんの方の参加のおかげで楽しい夏祭りや「楽しかった」の一歩がやりがいになっています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総会 総務部			日曜日 祭り 女性部	みんなで 遊ぼう 夏祭り 事業部	日曜日 遊園地 行事 環境部	防災 訓練 防災部		子ども お楽しみ会 女性部	総長会 総務部		

### ③小さな交流

- 町内会の会員とのあいさつ・声かけから
- 交流会へのお誘い
- 行事のお誘い
- 総会のお誘い



## ④ 担い手探し

- **顔見知りのできるところから**
  - 担い手の探しの基本は、顔見知りからです。
  - できることから少しずつ参画してもらいましょう。
  - 団塊の世代がそろそろリタイヤします。
- **ネットワークから**
  - PTAや商店街など、一緒に活動している他団体から参画してもらおう。
- **短期的な担い手**
  - 大学生は、期限付きの担い手と考えて、協力してもらいましょう

## ⑤ニーズにあった新しい企画

### • 町内会の予算とニーズ乖離がないか確認

- ニーズは子育てなのに、高齢者中心の予算執行だったら、見直す必要があります。
- ニーズを把握した上で新たな企画を考えましょう。

### • 新たな企画で、新たな参画を促す

- 新しい企画を新たな人に考えてもらうことが大切です。

### • グループでお誘い

- 一人で既存組織に入ってくるのは勇気がいります。
- 女性のグループ、若者グループが参加してくれる可能性が高くなります

### • 新しい企画をお任せする勇気

- 役員さんたちは、新しい企画をお任せする勇気(辛抱)を持ちましょう。
- 予算だけを確保して、あとは任せ、そっと見守る。

# MAKOMACHI(まこ×まち)プロジェクト

まちの  
魅力  
再発見

いろいろな  
人との交流

愛着心  
醸成

- ・まちへの愛着心醸成・地域の交流促進やまちづくり活動の活性化
- ・「まちあるき」の中でミッションをクリアすることでまちに関心を持ってもらう。



元気な町内会に向けた  
STEP5

ネットワークづくり

# これからの町内会

## 地域の課題の多様化

- 地域コミュニティは様々な組織・団体で構成され、活動が行われている。
- 課題やニーズに応じて機能分担してきた結果。



# まち・暮らしぶり・地域コミュニティ



市街地拡大  
分節型社会  
郊外化



空洞化  
中心街の衰退  
少子高齢化

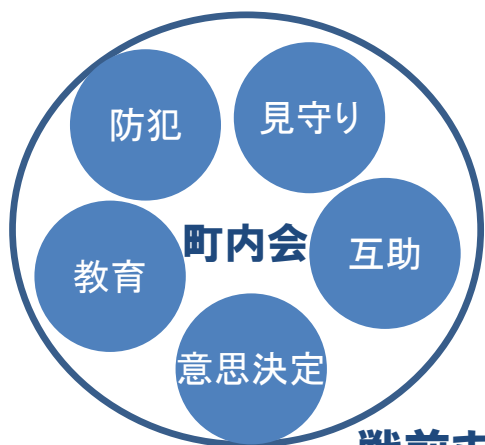


×

町内会などが中心

機能分担

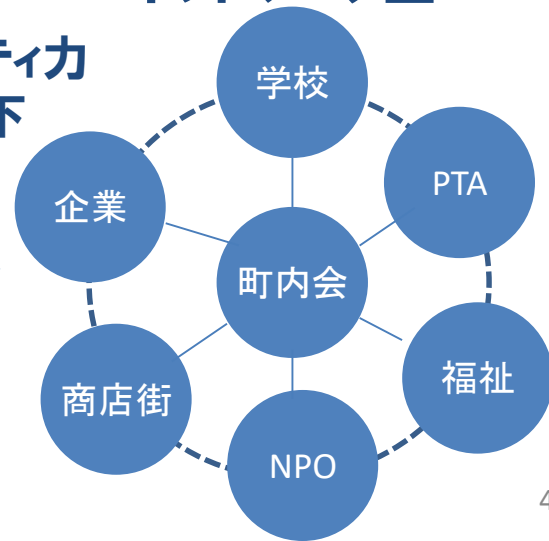
ネットワーク型へ



戦前まで

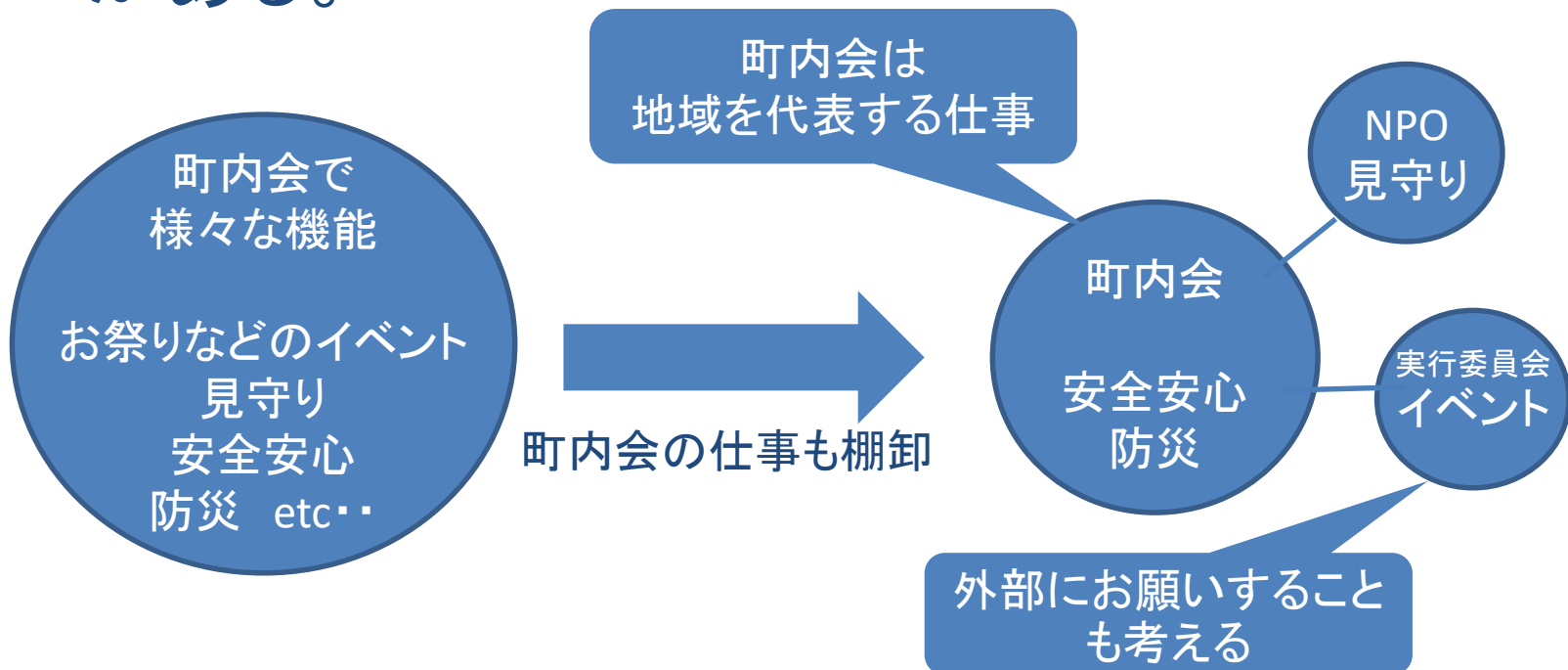


コミュニティ力の低下



## 町内会と様々な団体との連携

- 課題の多様化
- 地域での合意形成などは、町内会しかできない。
- NPOや商店街、大学、学生団体と連携して地域の課題を解決する役割をになうことができることがある。



## 商店主と連携 新琴似地区 地域のお宝再発見と冊子づくり

- 地域のお宝再発見をきっかけに、まちづくりセンター所長のコーディネートによって、町内会と商店主が連携しています。
- もっと地域を知ってもらい、好きになってもらうための冊子づくりを通して、地域への思いや課題、それぞれの活動を共有しました。



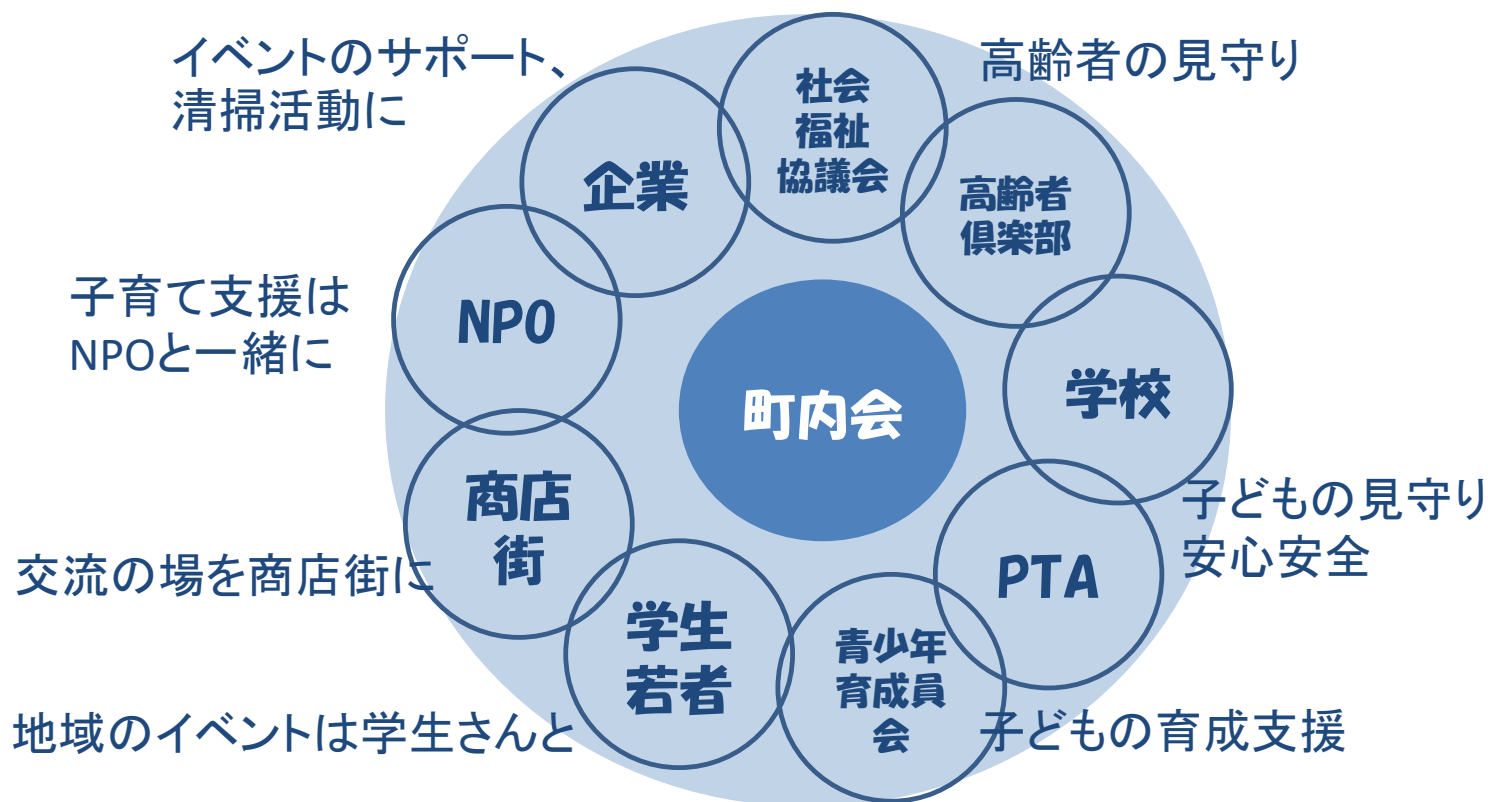
# 町内会活動カレンダーで「見える化」して連携

- 見える化で町内会活動を理解してもらう。
- 見える化で連携のきっかけづくり。(連携してイベント実施、PR)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連合町内会	総会	花植え			夏祭り							
〇〇町内会	総会											
□□町内会	総会				盆踊り					公園スノー キャンドル		
社会福祉協議会												
青少年育成委員会					□□大会					雪まつり		
児童会館					〇〇大会					雪まつり		
体育振興会		花植え			スポーツ大会							
商店街振興組合					夏祭り					アイスキャンドル		
PTA		花植え										
NPO					〇〇イベント							

## 様々なコミュニティの課題を解決するために 「ネットワーク型地域コミュニティづくり」

- これからのコミュニティは、ネットワーク型地域コミュニティの核になるようにしましょう。(まちづくり協議会がネットワーク型です)
- まちづくり協議会がコーディネーター役になることも必要です。



---

# 町内会未来塾テーマ別講座①

役員の担い手を見つけるために  
～ 時代に合った新しい町内会へ～

---

平成29年11月3日（金）

10：00～12：00



# 1 担い手不足の要因

町内会の大きな課題として、役員の担い手不足があげられます。町内会を取り巻く環境の変化により、町内会の必要性の認識が低くなってきていることが大きな要因であると考えられます。

一方で、町内会の組織体制や事業内容が時代に合っていないなどの要因もあります。町内会を次代に継承していくためには、やはり担い手の確保は必要不可欠になります。そのためには、時代の変化に合わせて町内会自身が変わっていくことが求められています。

## 町内会を取り巻く環境の変化

町内会の必要  
不可欠性の変化

(葬儀や除雪などの  
民間委託化)

高齢化に伴う  
課題の顕在化

(高齢者の見守り、  
買い物支援などの  
支え合い)

地域での子育て  
の必要性

(両働きや女性の  
活躍などによる  
子育て環境の変化)

個人情報  
の  
厳格化

(交流や支え合いが  
困難、住民同士の接点  
が希薄化)

町内会活性化  
＝地域価値の  
向上

(安心・安全が見え  
ないインフラに)

SNSの普及

(興味の無い情報が  
入りづらく  
なっている)

時代に合った新しい町内会へ変化していきましょう

# 1 担い手不足の要因

## 担い手不足の主な要因

入りづらい、  
閉鎖的な  
雰囲気

- 役員同士の絆が強すぎる、仲が良すぎるため新しい人が入りづらい
- どのような人がどのようなことを行っているのかわえてこない（不透明）
- 同じ人が何年もずっと役員をやっている

大変そう、  
楽しなさそ  
うなイメージ

- 負担が大きそう
- 一度入ったら抜けられないイメージ
- 住民のニーズに沿った魅力ある事業がない

必要性が  
知られて  
いない

- 町内会の役割や必要性が知られていない
- 自分には関係ないと思っている住民が多い
- 町内会側から積極的または適切な情報発信が行われていない

## 担い手確保に向けて

人材を  
見つける



組織を  
見直す

担い手を確保するためには、担い手になりうる人材を見つけることと、町内会の組織のあり方を見直すことに取り組んでいきましょう。

## 2 担い手になり得る人材探し

将来的に役員の担い手になりうる住民を把握しておきましょう。多くの住民が担い手候補になるのが理想ですが、なかなか難しいのが現状です。

手堅く地道に、直接顔を合わせて声かけを行っていくことが、はじめの一步です。

### 担い手の人材探し ～その1～

地域の人と  
顔見知りになる

町内会行事に参加する住民に対し、できるだけ話しかけて顔見知りの関係を築きましょう。

地域に知り合いを増やし、日頃のあいさつなどの関係から、少しずつ町内会に関心を持ってもらいましょう。

◇こんなきっかけで声をかけてみましょう

- ・おまつりや親睦会で飲食を交わしながら楽しく交流
- ・総会で顔見知りになり、日常生活であいさつや世間話をする
- ・小さな子どもがいる人には子どもの話題、2世代で地域に住んでいる人には親の話題 など

### 担い手の人材探し ～その2～

知り合いに  
声をかける

顔見知りや知り合いの住民に声をかけてみましょう。今すぐに役員になることは難しくても、数年後なら役員になってくれる可能性があることもあります。

また、声をかけられる側も、知っている人に誘われると参加しやすくなります。

◇例えばこんな住民はいませんか…？

- ・あと数年で定年を迎える人
- ・子育てを終えた主婦・主夫
- ・学生（短期的な担い手として） など

## 2 担い手になり得る人材探し

### 担い手の人材探し ～その3～

#### 担い手候補 をストック する

数年後に役員になってくれそうな人や、知り合いの人などにターゲットを絞り、将来の担い手としてリスト化しておきましょう。その中から、「来年度はこの人に」と声をかける相手を決めて勧誘することも一つの手段です。

できるだけ多くの住民に役員の手伝いになってもらいたいところですが、まずはターゲットを広げすぎず、少人数に対して声をかけていくことから始めましょう。

#### MEMO

---

---

---

---

---

---

---

# 3 組織の見直し

担い手候補の人材を探すこととあわせて、町内会の組織を見直し、新しい人材が入ってきやすい環境を整えることも必要です。

## 組織の見直し3か条

町内会の  
見える化



- 知ってもらう
- 必要性に気づいてもらう

組織の  
流動化



- 負担の軽減
- 役員の固定化を解消

柔軟な  
受入体制



- 誰もが入りやすい雰囲気

時代の変化に対応して組織を見直し、新しい人の流れをつくり、町内会を持続可能なものにしていきましょう！

## 町内会の見える化

町内会では、どのような事業が行われているのか、どのような人が役員として関わっているのかを知ってもらい、必要性を認識してもらうことが必要です。

### ◇町内会の役割や必要性を情報発信

町内会の活動ガイドや役員のお仕事マニュアルなどを作成して住民に配布することで、町内会の必要性や役員の役割について理解を深めることができます。また、SNSなどで町内会の情報を発信することも有効な手段です。



### ◇町内会の取組内容や予算・決算の透明化

町内会費がどのように使われているのか、どのような事業にどのくらい費用がかかっているのかが透明化されていることが、町内会への安心感につながります。

#### 町内会費について

**● 会費**  
 ・個人会費 (※世帯別)  
 ・正会員 300円/月  
 ・副会員 200円/月  
 ・学生会員 (※専業主婦)  
 300円/月

**● 正会員・学生会員の減い**  
 ・完全には非専業主婦である方、つまり世帯主一般に課税していただく方が対象です。反対に、課税額に不届きで課税減額のない専業主婦を対象として、減額させていただきます。  
 ※減額は、継続して専業主婦である方が対象です。専業主婦から専業主婦へは減額されません。

#### 町内会費の使い道について

定額から取られている町内会費は、以下のような各種事業に使われています。  
 ※内訳は、町内会費の100%です。

**● 環境・衛生事業 (40%)**  
 街灯の管理や、まちをきれいにするための作業を行っています。  
 【主な取り組み】  
 ・ごみ分別の指導  
 ・ごみ分別の巡回  
 ・町内での清掃活動  
 町内会の啓発など

**● 青少年育成事業 (20%)**  
 子どもたちのなかでも成長を地域で支えています。  
 【主な取り組み】  
 ・子ども会・少年団  
 ・少年少女の育成活動  
 ・少年少女の育成活動

**● 運営経費 (20%)**  
 町内会を運営するため、様々な会議等を行っています。  
 【主な取り組み】  
 ・役員会  
 ・町内会総会  
 ・町内会役員会  
 ・町内会役員会

**● 防火防犯・防災事業 (10%)**  
 万一の火災や防犯、防災のための取り組みを行っています。  
 【主な取り組み】  
 ・防火防犯・防災訓練  
 ・防火防犯・防災訓練  
 ・防火防犯・防災訓練

**● 福祉・福祉事業 (10%)**  
 高齢者が安心して生活するための取り組みを行っています。  
 【主な取り組み】  
 ・高齢者の福祉活動  
 ・高齢者の福祉活動  
 ・高齢者の福祉活動

**● 交流事業 (10%)**  
 地域のよさを発信し、交流を促進するための取り組みを行っています。  
 【主な取り組み】  
 ・交流会  
 ・交流会  
 ・交流会

**● 積立金 (10%)**  
 町内会費のなかから、積み立てています。  
 ・防火防犯・防災事業 3%  
 ・青少年育成事業 3%  
 ・環境・衛生事業 4%

● 年度の町内会費の使い道 ●  
(町内会費100%)

# 3 組織体制の見直し

## 組織の流動化

何年も同じ人が役員を務めているなど、役員が固定化しては、新しい人が入りづらい状況です。常に人が入れ替わるよう流動的な組織にいきましょう。

### ◇役員任期制

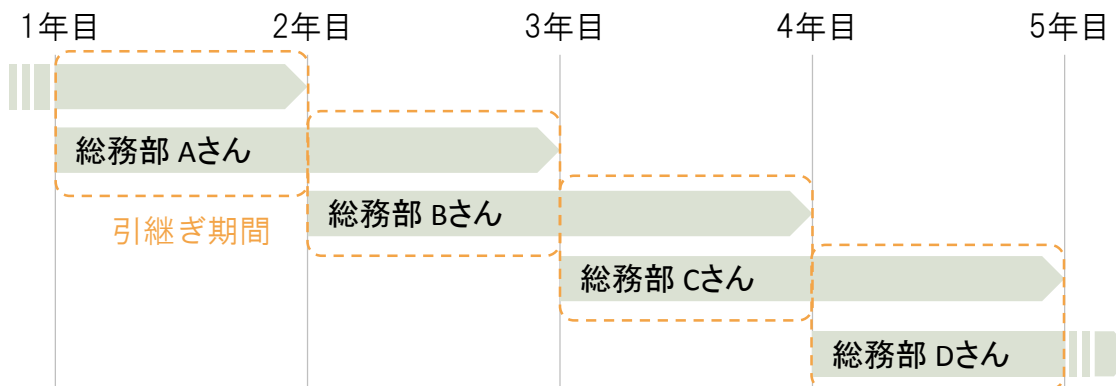
役員任期制を設けることで、流動的に人が入れ替わる組織になります。組織の固定化の解消と合わせて、担い手にとって負担の軽減にもなります。

任期制は、役員半数ずつを1年ごとに交代するなどの仕組みにして、大半の役員が一度に改選し、誰も町内会のことを把握していないといった状況にならないように気をつけましょう。

### ◇役員複数名体制

町内会の役員の中でも、負担の大きさに差があることがあります。そういった場合は、負担の大きい部の役員を2~3人体制にするなどして、負担を軽減する方法があります。同じ部の役員が複数名いると、1年ずつ役員が変わっても引継ぎしやすくなります。

#### 役員引継ぎイメージ（2名体制の例）



### ◇役員輪番制

どうしても役員の担い手が見つからない場合は、公平に輪番制で役員を持ちまわっている町内会もあります。

## 柔軟な受入体制

新しい人が入ってくるには、気軽に参加できる楽しい雰囲気と、新しい人を受け入れる意識づくりが必要です。

### ◇オープンな雰囲気

知らない人達が仲良くしているコミュニティは、外から見るとなかなか入りづらいと思ってしまう人が多いです。仲良く楽しく活動することはとても大切なことですが、仲が良すぎて排他的な雰囲気になってしまえば、担い手の確保は難しいです。いつでも誰でも受け入れる姿勢を大切にしましょう。



### ◇規約や事業の見直し

地域の状況や時代の変化などにより、実際の活動と規約が合わなくなっている場合もあります。そのような場合、「地域の今」を考えて、柔軟に規約を変えていくことで、新しい人が入りやすくなります。

A large, empty rectangular box with a thin green border, occupying most of the page. It is intended for the main content of the memo.

## 町内会未来塾 テーマ別講座①

～役員の担い手を見つけるために～  
～時代にあった、新しい町内会を目指して～

テトラフォース・パートナーズ有限責任事業組合  
埜本 泰隆（たおもと やすたか）

## 埜本 泰隆（たおもと やすたか）プロフィール

テトラフォース・パートナーズ有限責任事業組合 代表パートナー  
株式会社北海道PVGS 代表取締役

1972年 東京生まれ。45歳。

立教大学を卒業後、新卒でベンチャーキャピタル(投資育成会社)に入社以来、20年以上にわたり、  
中小企業やベンチャー企業の株式上場準備や営業の支援を行ってきた  
【実践型】【ハンズオン型】のコンサルタント。

ベンチャーキャピタルから転職して、上場準備の担当役員を務めたIT企業では、  
2001年の米国同時多発テロによる株式市場の混乱を乗り越えて株式上場を達成。  
次の転職先であるコインパーキング運営企業でも上場準備の担当役員を務め、入社後1年8か月で東証マ  
ザーズへの上場を達成。

2006年に独立し、中小ベンチャー企業に特化した成長支援の活動を開始。

2007年には、太陽電池の製造装置分野で世界トップシェアとなった企業の株式上場を実現。

北海道では2006年の独立以来、複数の顧問先で各種コンサルティングを実施し、現在に至る。

気合いで毎日、メルマガ&ブログ「ご縁ゴト」を配信しています！（お申し込みはお気軽に！！）

## 本日のレジュメ～ビジネスの視点から～



①「町内会の運営」を「見える化」していますか？

～ヒトは見えないものに「恐怖」を覚える～

②「目をつぶって」任せて「バトンリレー」？

～培本の恥ずかしい、20代後半での経験の一つ～

③「町内会」の「ライバル(競合)」はだれ？

～一つ上の「レイヤー(階層)」で考える～

～ビジネスの具体例から、ライバルの設定を考える～

～ライバルにあって、町内会に無いものは？→解決の糸口へ～

④「跡継ぎ」や「参加者」を増やすには？

～「ニーズ」を捉えるだけではダメ。ニーズの向こうにある、二つの感情を考える～

～あらゆる組織における強固な「ファン」を構築する鉄則～

⑤思い切って、町内会で「ソーシャルビジネス」をしてみてもは！！

## <メモ欄>



## お問い合わせ先

---



組織名: テトラフォース・パートナーズ有限責任事業組合  
(Tetra-force Partners L.L.P.)

E-MAIL: [info@tetraforce.jp](mailto:info@tetraforce.jp)

URL: <http://www.tetraforce.jp>

札幌事務所

〒060-0041

札幌市中央区大通東3丁目1番地 倉沢ビル 3F

# 町内会活動により 住みよい地域に

地域の生活環境を整え、住民が安心・安全・快適に暮らすために、町内会ではさまざまな活動を行っています。

そして、安心・安全・快適で住みよい環境が、暮らすうえでの魅力となり、住民がまちに愛着を持つきっかけとなります。

町内会活動は“見えないインフラ”として、地域価値の向上に寄与しています。

ごみステーションの  
管理

街路灯の  
管理

除雪・排雪

環境美化

防犯・  
交通安全

防災訓練

親睦・交流  
事業

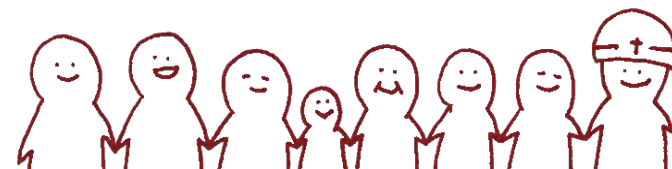
高齢者の  
見守り

情報発信

…など

住みよいまちに  
するために！

# 町内会 の役割



# 地域を住みよくするための町内会活動 ~これらの取組により、みなさんの安心で快適な暮らしを支えています

## ごみステーションの管理

ごみステーションの管理として、巡回やカラス対策のネットの購入などを行っています。



## 街路灯の管理

夜間でも住民が安心して歩けるよう、街路灯の管理を行っています。



## 除雪・排雪(パートナーシップ)

年に1度のパートナーシップ排雪や、高齢者宅の除雪のお手伝いをしています。



## 環境美化活動(花植え・清掃)

植樹升の花植えや町内の清掃を行っています。



## 防犯・交通安全

通学路の見守りや、夜間パトロールを行っています。



## 防災訓練

災害時に備え、防災訓練や防災マップづくりを行っています。



## 親睦・交流事業

お祭りや交流会など、地域住民が交流し、親睦を深めるための取組を行っています。



## 高齢者の見守り

高齢者への声かけや安否確認、高齢者サロンなどを行い、高齢者を見守っています。



## 情報発信(回覧板)

地域の情報を地域住民に届けるために、回覧板などで情報発信を行っています。



参加者同士で町内会の担い手不足などの課題を共有し、課題解決のアイデアを考えました。また、担い手を確保するためには役員自身が楽しみながら取り組むことが大切であるため、役員をやっていて楽しいことは何かを考えました。

## ■町内会の現状・課題

### ○町内会の解散

- ・町内会の解散後、除雪の互助会を立ち上げている地域がある。
- ・解散後に、地域で求められることや町内会の役割などが改めて見えてきたため、若い住民が中心となって町内会に代わる組織を一から作り直そうとしている。

### ○町内会への加入

- ・古い集合住宅は加入率が低い傾向にある。
- ・ごみステーションの管理は町内会で行っているが、未加入者も同じようにごみステーションを利用していることなどが課題となっている。

### ○役員の任期

- ・1年任期の輪番制で役員を持ちまわっている町内会では、住民の町内会への理解が深まるきっかけとなる。
- ・輪番制の導入で担い手不足を打開する仕組みを取り入れても、結局担い手が決まらない状況がある。

## ■解決のアイデア

### ○ニーズの把握

- ・アンケート調査で住民のニーズを把握する

### ○町内会をPR

- ・パンフレットなどを作成して町内会活動を知ってもらう・理解を深めてもらう

### ○受入体制・組織の見直し

- ・若い人や新しい人をあたたかく受け入れる姿勢づくり
- ・副部長制度など役員を増やして役員の負担を軽減
- ・活動協力員や班長サポーター制度など、お手伝いとして参加してもらう
- ・学生にお手伝いで参加してもらう

## ○役員をやっていて楽しいこと

- ・住民がよろこんでくれることで、やりがいにつながる
- ・会社では経験できない、人と人のつながりが持てる

楽しいことを見つけて  
住民に伝えていく

担い手の確保に  
つながる

---

# 町内会未来塾テーマ別講座②

若い世代と関わろう！つながろう！  
～働きかけの工夫～

---

平成29年11月3日（金）

14：00～16：00



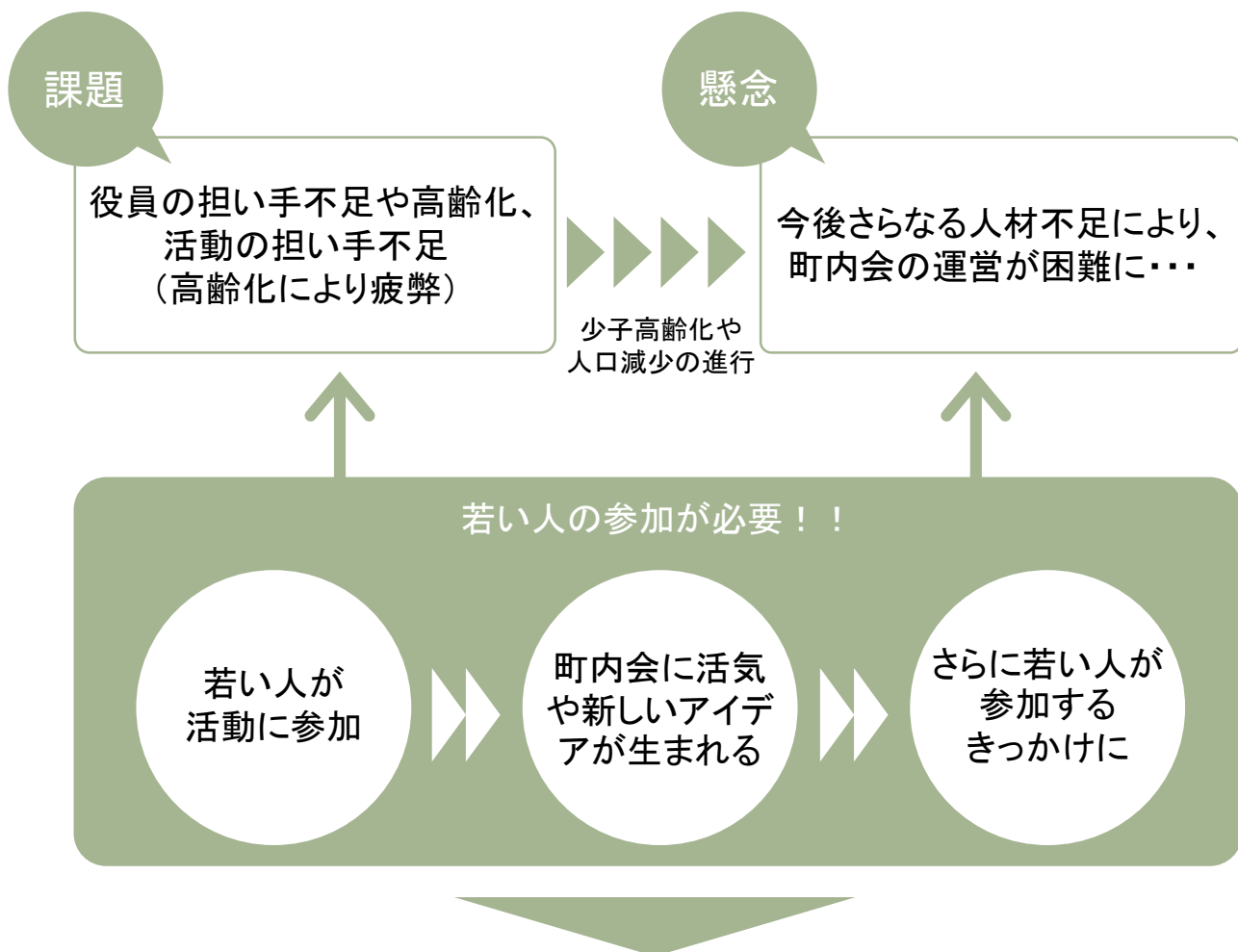
# 1 町内会における若い世代の必要性

現在、多くの町内会では、「役員の担い手不足」や「役員の高齢化」、「活動する人が特定され底辺の拡大がない」などが大きな課題としてあげられています。また、少子高齢化や人口減少の進行が予測されており、このままでは担い手不足や活動の停滞が一層深刻化していくことが懸念されます。

そのような中で町内会を持続可能なものにしていくためには、若い世代の町内会への参加が必要不可欠になっていきます。若い世代の参加により新たなアイデアが生まれ、さらに若い人が参加するきっかけとなり、町内会が活性化していくことが考えられます。

若い人へのアプローチ方法などは町内会の実情により様々ですが、それぞれの町内会に合ったかたちで若い人への働きかけを行っていくことで町内会の活性化につなげていきましょう。

若い人の参加が、町内会活性化のきっかけになります。



町内会の活性化や将来的な役員の担い手につながる

## 2 若い世代の参加しやすい条件

まずは若い世代に参加してもらうために、「若い世代が参加しやすい条件」を考え、「町内会側の受け入れ体制」を見直すことが大切です。

若い世代が活躍している町内会では、若い人たちが仕事や子育てをしながらも参加しやすいように工夫しています。

また、若い世代を対象とした地域活動への参加について考える意見交換会では、若い人の参加の条件として、次のような意見が出されました。

### 若い世代が参加しやすい条件と町内会の受け入れ体制

仕事や家庭  
を優先できる



- 仕事をしている人も参加できるように、会議の時間を平日の夜や土日に行う
- 仕事や家庭の事情により参加できない場合もあることを、容認する

自分たちの  
意見を聞いて  
もらえる



- 若い人たちのアイデアや思いを否定せず、意見を尊重する
- 行事を企画から実施までお任せしてみる

知っている  
人と一緒に  
参加できる



- 日頃のあいさつや行事のときに声をかけるなど、顔見知りの関係づくりを行う
- 若い人は1人ではなく、複数人のグループで参加してもらう

気軽に参加  
できる



- 会議への参加や行事のお手伝いには、子ども連れでも可とする
- まずはあまり難しくない役割など、できることから少しずつ参加してもらう

やりがい、  
楽しいことが  
大事



- 若い人のニーズに沿った取組を行う
- 町内会が閉塞的な雰囲気だと入りづらく楽しくなさそう。楽しい雰囲気だと、若い人も参加したくなる

### 3 若い世代の参加のステップ

町内会の受け入れ体制や意識を高めたら、若い人に参加してもらうためのアプローチ方法を考えましょう。

しかし、若い人に参加してもらいたいが、「そもそも若い人の顔が見えてこない」「なかなか接点が無い」「イベントには参加してくれているが、運営のお手伝いまでは頼めていない」など、町内会によって状況はさまざまです。

ご自身の町内会の現状を確認し、ステップを踏んで若い世代との関わりづくりに取り組んでみましょう。「座して待っていても埒があかない」ということで、役員や班長と協力しながら、“まず行動する”ことから始めましょう。

あなたの町内会の現状は、どうでしょう？



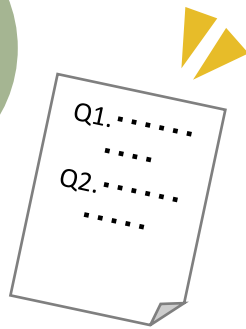
# 3 若い世代の参加のステップ

それでは、若い世代に向けてどのような働きかけを行っていくとよいか、ステップごとに具体的な手法や工夫点を紹介します。

## STEP1～若い人のニーズを把握して事業に展開する

- 町内会住民に向けてアンケート調査を行うことで、住民のニーズを把握しましょう。
- ニーズを把握して町内会事業に反映させていくことで、今まであまり参加していなかった住民の参加につながります。

### アンケート調査の実施



#### ◇行事についての設問（例）

- ・今まで参加したことのある町内会の行事
- ・今後、必要だと思う町内会の事業や行事

#### ◇担い手についての設問（例）

- ・今後、町内会活動のサポートの可能性
- ・役員の担い手を確保するための方法

### 結果の分析・事業への反映



#### ◇分析結果の活用

- ・今後どのような事業を展開していくか、考えましょう。
- ・担い手確保のための方法についても、意見を元に柔軟に対応していくことが必要です。

### ポイント

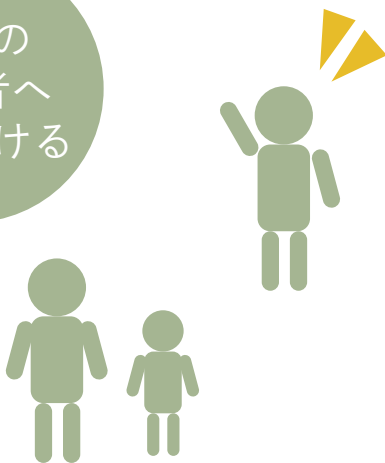
アンケートは全戸配布もしくは若い世代が集まる行事の参加者への配布などで、なるべく多くの住民のニーズを汲み取ることをオススメします。

# 3 若い世代の参加のステップ

## STEP2～町内会行事に参加してもらい、交流する

- 若い人が参加したくなる行事を行い、参加してもらうことで、町内会に少しでも興味を持ってもらいましょう。
- 行事に参加してくれた人に対して積極的に声をかけ、まずは顔見知りの関係づくりからはじめましょう。
- 特に子ども連れの参加者や親が町内会に参加している住民は、声をかけやすいです。

行事の  
参加者へ  
声をかける



- ・子ども連れの参加者は、子どもの学校や年齢についての会話から入っていくと、仲良くなりやすいです。
- ・お祭りやお花見など、飲食を伴う交流行事には若い世代の参加が多い傾向にあります。時にはお酒を交わしながら本音で話せる機会も必要かもしれません。

### ポイント

いきなり「役員になって」という声かけは厳禁！かえって遠ざかってしまいます。まずは町内会を身近に感じてもらい、「楽しい」「安心」と思ってもらうようにしましょう。

参加者を  
把握する



- ・今後も参加してもらうため、参加者を名簿で管理し、データとして把握しておくことが大切です。
- ・名簿に名前のある人たちに個別で声をかけ、行事へのニーズ等を聞き取ったり、次回の行事のお手伝いをお願いすることも一つの手段です。

### ポイント

行事を事前申込制にすると、参加者の管理がしやすくなります。その際、お子さんの有無なども把握できるとよいでしょう。

# 3 若い世代の参加のステップ

## STEP3～行事などを手伝ってもらう

- 参加者と顔見知りになったら、徐々に当日のお手伝いや企画から参加してもらうことで、将来的な担い手につなげていきましょう。
- 男性は会場設営、女性は調理や配膳のお手伝いなど、まずはできることから気軽に手伝ってもらいましょう。
- 住民のニーズに沿った新たな行事を考える際に、企画から若い世代に参加してもらうことも大切です。

できること  
から手伝っ  
てもらおう



- ・ 行事の当日の運営や準備を若い世代に手伝ってもらうなど、お願いしやすいことから少しずつ参加してもらいましょう。

### ポイント

若い人を単なる“マンパワー”として手伝ってもらいたいという考えでは、なかなか若い人のモチベーションはあがりません。一緒に協力しながら取り組み、やりがいを共有することが大切です。

### ◇例 ～イベント当日の運営サポート～

「イベントの当日のお手伝いなら参加できる」という若い方は、意外と地域にいます。ダメもとで声をかけてみると、お手伝いしてくれるかもしれません。



# 3 若い世代の参加のステップ

企画から  
参加して  
もらう



- ・行事の企画に若い世代が参加することで、同世代の人が参加したくなる内容や条件などが見えてきます。
- ・数名の若い世代の参加が、さらに多くの若い世代を呼び込むきっかけとなります。

## ポイント

若い人にとって企画会議などに参加するということは、結構ハードルが高いと感じることが多いです。同世代の仲間と一緒に参加してもらったり、参加しやすい時間帯や条件で行うことが必要です。

### ◇例 ～ママさんワークショップ～

若いママさん達が集まって、子ども向けの行事を企画する会を行い、今後の町内会への参加につなげていくといった手法もあります。

その際、スイーツを食べながら、子ども連れで参加してみんなで子守をするなど、気軽に参加してもらおう工夫があるとよいです。



### ◇例 ～企画会議への参加～

若い人にも企画会議に参加してもらうため、会議の時間を平日の夜や土日に行うことで、働いている人も参加しやすいように工夫をしている町内会もあります。



# 3 若い世代の参加のステップ

## STEP4～将来的な担い手に

- お手伝いとして参加してくれている若い世代に、いきなり役員をお願いするとなると、負担感から離れていってしまうことも考えられます。
- 「活動協力員」のように、役員の一歩手前の組織を立ち上げ、登録してもらうなどの仕組みづくりに取り組んでいくことが有効です。
- その際、若い人の関心の高い「防災」や「子育て」などをキーワードに声かけすると興味をもってもらいやすくなります。

仕組みをつくる



- ・活動協力員など、若い世代が関わる組織を町内会に設けることが、将来の担い手確保につながります。
- ・若い世代による町内会のサポート組織があると、今後の行事へのお手伝いもお願いしやすくなります。

### ポイント

規約や組織体制を変えて、若い世代が入りやすい仕組みをつくっていくことが大切です。柔軟な意識を持って、まずは実行してみることから始めましょう。

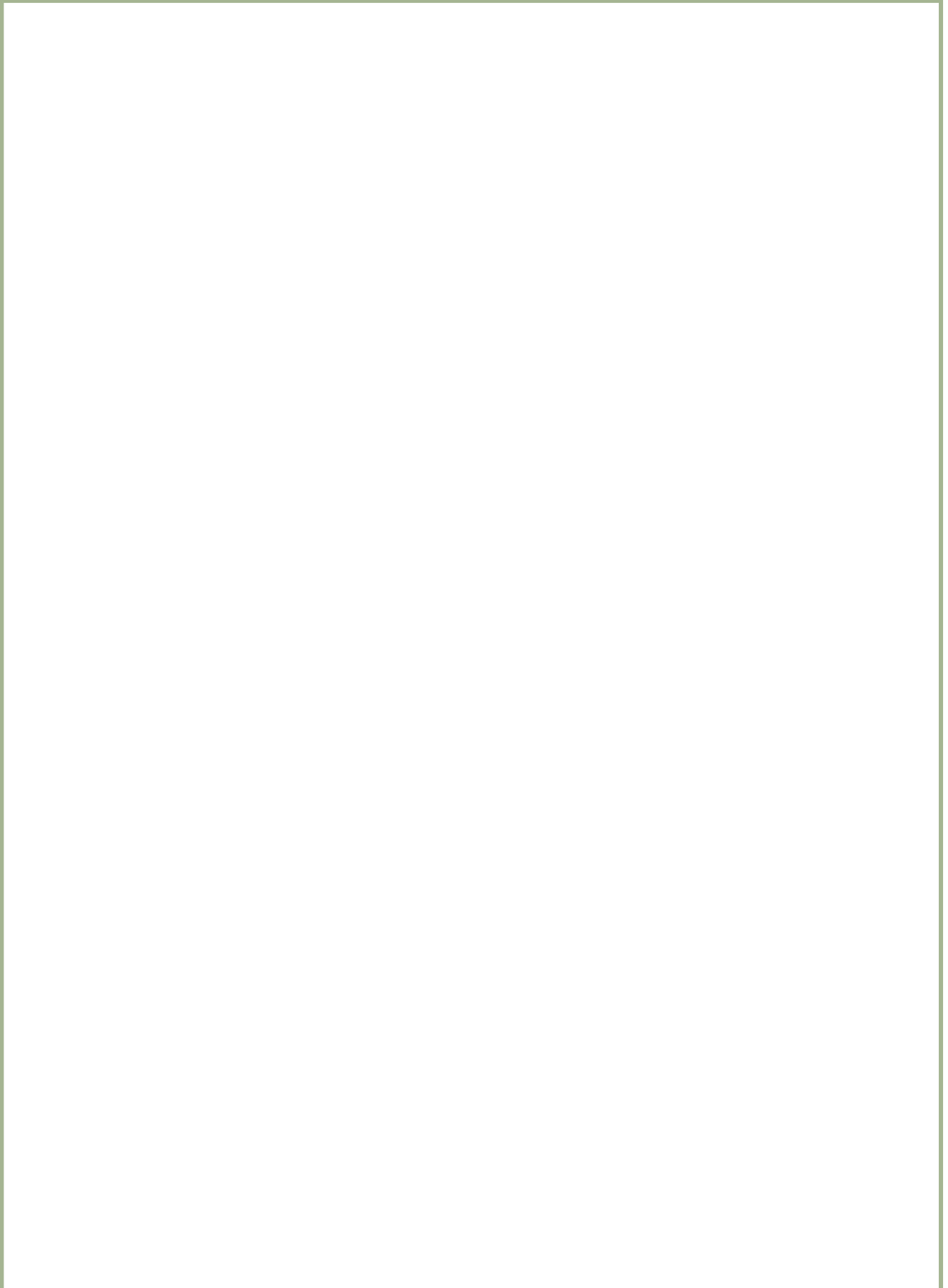
若い世代の意見を尊重する



- ・せっかく関わってもらう以上、若い世代の意見やアイデアを尊重しましょう。
- ・「これまでのやり方と違う」という思いもぐっところえて、まずは受け入れましょう。
- ・何か一つの行事を企画から運営までお任せしてみることも良いかもしれません。

### ポイント

年齢に関係なく、「自分たちの暮らすまちを良くしていきたい」という思いは共通です。前例がないアイデアが出された場合、否定するのではなくまず受け入れるという姿勢が大切です。



# 町内会活動協力員の設置で 町内会を活性化

～若い世代と関わるきっかけづくり～

共栄第3町内会  
会長 岩渕 清宣

# 1 共栄第3町内会の現況

設立／昭和47年4月に設立

位置／国道12号線沿いの本通7丁目～9丁目以東、  
平和通7丁目～9丁目

世帯数／667世帯

町内会加入世帯数 460世帯 (69.0%)

組織編成／総務部、会計部、福祉厚生部、防犯・防災部、  
交通安全部、環境衛生部、青少年育成部、  
女性部、青年部

主な活動／焼肉パーティ (6月)

餅つき大会 (12月)

クリスマスお楽しみ会 (12月) など

## 2

# 課題認識

町内会が  
抱える  
共通の課題

- ・役員の担い手がいない
- ・役員の高齢化が進んでいる
- ・活動する人が特定され底辺の拡大がない

3年前から、あれこれ検討・・・

座して待っていても埒があかない！

現役世代の若い人にターゲットをあてて、  
協力してくれる人を探す！！

(意思のある人なら何人でも。手を上げてもらう。)

各区長を中心に役員等が個別に接触・交渉

# 3 活動協力員の設置

## 目的

- ◆将来は、町内会の役員として活動してもらおう
- ◆当面は、住みよいまちづくりのために、参加できる行事だけでも良いから参加してもらおう
- ◆近年、特に叫ばれている災害発生時に支援してもらおう

3つを目的として交渉に、、、



## 4 活動協力員を見つけるために

はじめからハードルを高くすると、  
声かけしても入口の段階で敬遠されてしまう・・・

強調して  
セールス  
トーク



- とにかく、現役世代の若手に参加してもらい知恵を貸してもらいたい！
- 若い人の考えや意見を取り入れて活性化を図りたい！
- 活動のできる範囲で参加してもらおう。  
強制しない！

→とは言っても、そんなに簡単ではなく。。。苦労したのが実情

# 4 活動協力員を見つけるために

## はじめのきっかけは、焼肉パーティ

- 交流と情報交換の場としての焼肉パーティでの会話の中から、行事に手を貸してもらえたら…と話が弾んで



会長をはじめ役員等が、改めて個別に活動協力員への協力依頼、登録確認

正式  
発足

平成28年度（初年度）に男性は会場設営、女性は調理等に積極的に参加

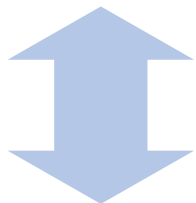
これを機に、12月の「餅つき大会」「クリスマスお楽しみ会」にも協力

# 5 活動協力員の取組とこれから

会長



役員



活動協力員



31名（男性27名、女性4名）

- 「仕事と家庭が第一」と割り切る
- 将来は、会長及び役員の手伝いとして活動してもらう
- 若い人の意見を尊重する
- 会議出席は代理でも可

活動参加を通して  
情報の共有化、  
連帯感を高める

- 花壇づくり、公園の管理・草刈、ゴミステーション巡回
- 高齢者等の間接見守り
- 情報収集と町内会未加入者への加入促進、その他情報発信
- 災害時の要支援者支援活動

# 5 活動協力員の取組とこれから



# 5 活動協力員の取組とこれから

## 協力員からの提案「サマーフェスタ」

- 活動協力員との会合を経て、焼肉パーティを拡大した「サマーフェスタ」の提案があり、今年の7月に実施。約700人が来場し、大成功となった。

意見尊重  
任せる

## 「活動協力員」から『青年部』へ

- 活動協力員から組織編成に組み入れてほしいとの要望があり、『青年部』を発足（活動協力員はこれまでどおり）

## 責任者（リーダー）の選定

- 役員側からの連絡の責任者の選定を申し入れし、リーダー1名・サブリーダー3名の青年部の体制ができた

## 6 活動を通じて

若い世代が向こうから手を上げて町内会活動に参加したい、役員をやってみたいという人は、まずいない

実際は、



- ①声をかけたら活動に参加し、協力する意思がある
- ②町内会活動に少なからず、興味・関心を持っていた
- ③町内会活動に疑問や改善点を見出していた
- ④若手の集まるところに、リーダー的存在がいる
- ⑤自分たちの住むまちを自分たちで育てたい・守りたいという思いがある

若い世代の住民に町内会活動へ参加してもらいたいという共通の思いの中、若い世代との関わるうえでどのようなことが課題になっているのかを共有し、関わりづくりのアイデアを考えました。

## ■子育て世代との関わり

### ◇課題

- 子育て世代の町内会に対する関心が低い。
- 子育て世代ともっと関わっていききたい。

### ◇関心を高めるためのアイデア

- 子どもの入学金を支給することで、子育て世代が町内会に目をむけるきっかけになる。

## ■イベントを通じて参加者の意識を高める

### ◇課題

- おまつりなどのイベントは、参加者としての参加はあるが、お手伝いとして参加してもらいたい。

### ◇参加者の意識を高めるアイデア

- 町内のひとりひとりに持ち物を指定して、みんなで具材や道具を持ち寄ってカレーづくり大会を行うと、住民の関わる意識が高まるのではないかな。

## ■町内会の受入体制

### ◇課題

- 若い人が参加してくれても、役員が意見を聞く耳を持たなかったり、威張った態度では次から参加してもらえない。
- 一度町内会に関わった人が継続して参加できる仕組みが必要。

### ◇若い人の意見を取り入れるアイデア

- 若い人の意見を受け入れるための仕組みや姿勢が必要。

### ◇長く町内会に関わってもらおうアイデア

- 青少年育成部のOBが行事のお手伝いをする仕組みがあると、長く町内会に関わってもらえる。

## ■情報発信の工夫

### ◇課題

- 回覧版は若い人に見てもらえない。
- 若い人に届く情報発信が必要。

### ◇若い人に届く情報発信のアイデア

- 全世帯にタブレットなどを配って、お知らせを電子化するなど、町内会が変わっていくべきである。

---

# 町内会未来塾テーマ別講座③

テーマ型事業で関心を高める  
～多くのかかわりから活性化に～

---

平成29年11月11日（土）

13：00～16：00



# 1 コミュニティのカたち

近年、町内会の担い手不足や活動の参加者の固定化など、地域コミュニティの希薄化が要因となる課題が顕在化しています。

しかし、自分たちの地域を“安心して誰もが暮らしやすいまち”にしていくためには、やはり人と人とのつながりは欠かせないものとなります。同じ地域に住む住民同士で日頃から交流して顔見知りの関係になり、災害時などいざという時に助け合えるコミュニティをつくるために、まずはコミュニティのカたちを改めて考えてみましょう。

## コミュニティのカたち

コミュニティは、大きく分けると「地縁型コミュニティ」と「テーマ型コミュニティ」の2つに分けることができます。

町内会など、同じ地域の住民同士のつながりである「地縁型コミュニティ」は、若い世代の関心の低下などにより人が集まらなくなってきました。

一方で、「テーマ型コミュニティ」は、場所に限らず“好きなモノ・コト”や“興味のある分野”をきっかけとした集まりです。

特に若い世代にとって、テーマ型のコミュニティであれば関心が高く、参加のハードルが低い傾向にあります。

### 地縁型 コミュニティ



- 同じ地域に住んでいる人同士のつながり
- 主に、町内会や老人クラブ、商工会など、1つの対象地域を中心とした集まり
- 古くから存在するコミュニティが多い

### テーマ型 コミュニティ



- NPOやサークル活動、共通の趣味や関心による、特定の地域に限らない集まり
- SNSなどインターネット上で共通の関心をもつ人同士の集まりもある

## 地縁型コミュニティ（＝町内会）の現状と課題

地縁型コミュニティのひとつである町内会では、参加者の固定化や絆が強すぎて新しい人が入りづらいといった課題があげられます。

高齢化が進む中で将来的な担い手を確保するため、特に若い世代に参加してもらうことが求められています。

そのためには、若い人に興味を持ってもらう事業を行い、参加につなげていきましょう。

参加者の  
固定化

入りづらい  
雰囲気

興味・関心  
が無い

きっかけが  
ない

興味・関心を持ってもらうための工夫や  
参加のハードルを下げる必要がある

住民が興味・関心のあるテーマに沿った事業で参加を増やす

MEMO

---

---

---

---

## 2 テーマ型コミュニティの特徴

テーマ型コミュニティは、基本的に「自分の興味・関心のあること」をきっかけにしたコミュニティのため、若い人にとっても参加のハードルが低いことが特徴です。

また、地縁型コミュニティへの参加に消極的な人も、テーマ型であれば共通の趣味を持った友人のツテやインターネットでの情報共有など、参加のきっかけが比較的多いことも特徴です。

### テーマ型コミュニティへの参加のきっかけ

楽しそう

テーマそのもの  
に関心がある

1人でも参加  
しやすい

情報が  
入ってきやすい

強制ではない  
気軽な参加が  
可能

仲間やお友達  
ができそう

友人のツテやクチコミ、インターネットを通じた情報交換などで  
コミュニティへの参加者が増えています

## 2 テーマ型コミュニティの特徴

### テーマの種類

コミュニティにつながるテーマは数多くありますが、ここでは4つの視点からテーマの例をあげました。

#### 共通の趣味

- ・スポーツ（ゴルフ、草野球、テニスなど）
- ・文化活動（読書、アート、手芸、カメラなど）
- ・アクティブ（旅行、アウトドア、おでかけなど）



#### 共通課題

- ・子育て支援、子どもの居場所
- ・高齢者の見守り、交流



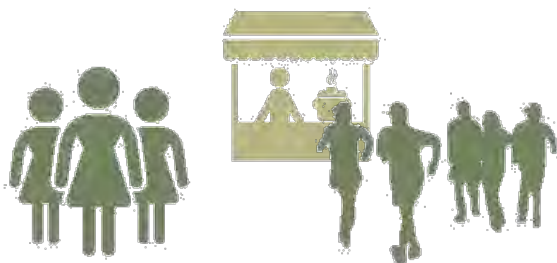
#### 場

- ・好きな食べ物やレストラン
- ・いつもの飲み屋さん



#### 世代・立場

- ・ママトモ
- ・おやじの会



など…

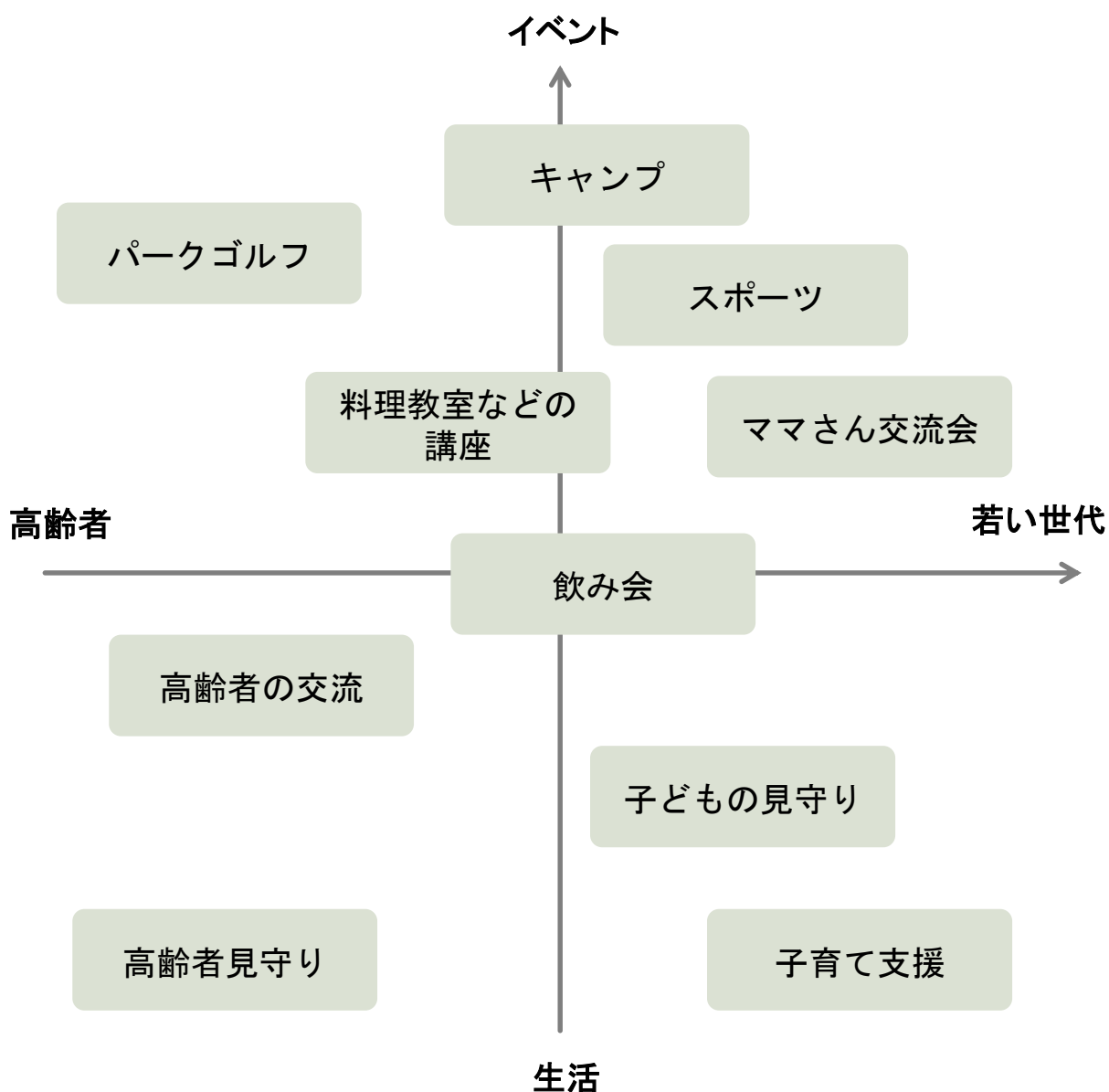
## 2 テーマ型コミュニティの特徴

### テーマの種類を分類

テーマの種類を「ターゲット（世代）」と「活動の形態（イベント系または生活系）」で分類してみましょう。

ご自身の町内会で取り組んでいる活動や、こんな活動を行いたいと考える時も、まずは参加してもらいたいターゲットにあったテーマを考えて、事業を考えてみましょう。

※ここでは、主なテーマを例としてあげています。



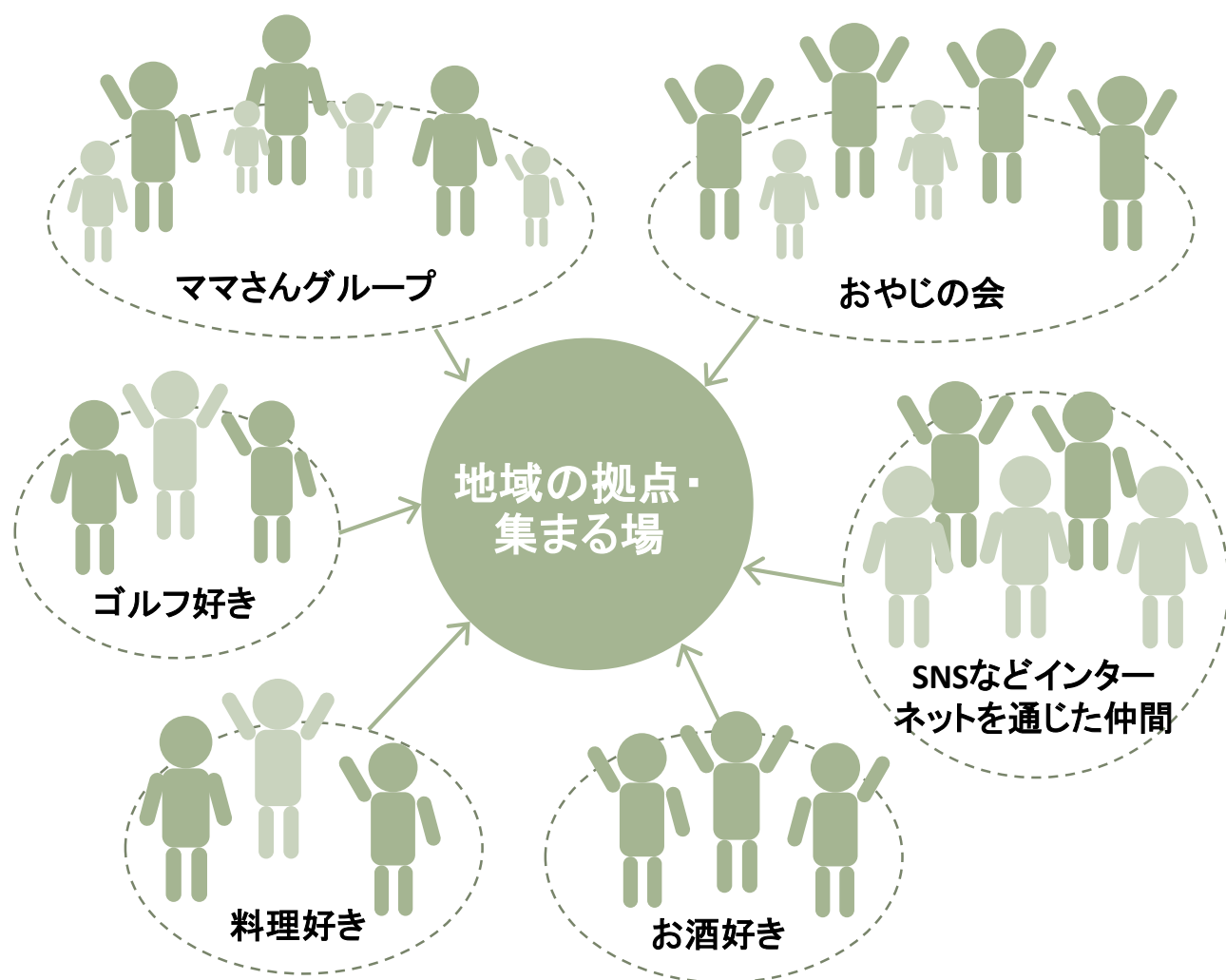
### 3 テーマ型×地縁型コミュニティ

テーマ型のコミュニティは、あるテーマを共通項として人が集まったり、交流が生まれます。例えば、子育てママさんは“子ども”という共通のテーマから、子育てサロンや子ども食堂に集まり交流します。いつもの飲み屋で会う仲間は、その飲み屋が交流の場となります。このように、実際に顔を合わせて「リアル」に交流するパターンがあります。

一方で、離れた地域の人たちでも、インターネット上の交流の場として、SNSを活用した「バーチャル」のコミュニティもあります。

このように、集まる場があるとコミュニティが生まれてくるので、あるテーマに関心を持つ人たちのコミュニティに交流する場があれば、新しいコミュニティが地域内で生まれ、町内会との関わりが生まれることも期待されます。

#### 拠点によるテーマ型×地縁型コミュニティの形成



地域に拠点があることで、テーマ型×地縁型コミュニティが形成

## テーマ型×地縁型コミュニティのつくり方

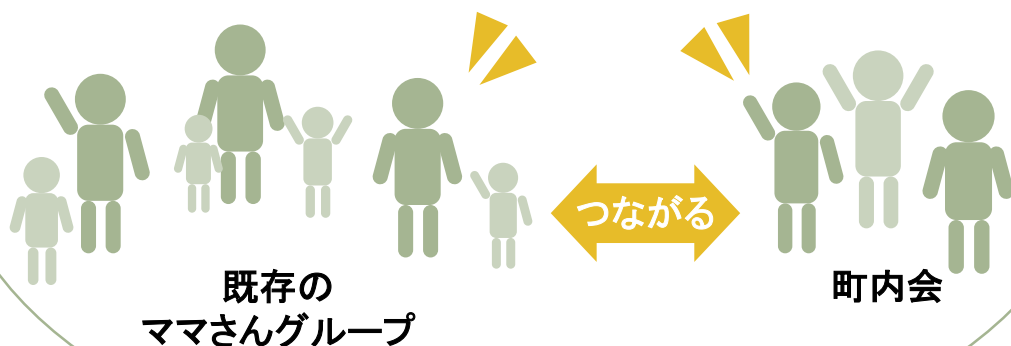
### ◇既存のテーマ型コミュニティとの連携

既存のテーマ型コミュニティと町内会を結び付けるためには、コミュニティの核となる数名と接点を持ち、そこから緩やかなつながりをつくっていくことが有効です。

例えば、地域で子ども食堂や子育てサロン、カフェなどで集まっているママさん達へ町内会行事のお知らせをしたり、ママさん同士のコミュニティとつながって、町内会にお手伝いが必要などきに連絡を取れるようにするなど、ゆるやかなつながりづくりを行うとよいかもしれません。



### ママさん達の拠点 (子育てサロン、子ども食堂、カフェなど)



## ◇町内会でテーマ型事業に取り組んでみる

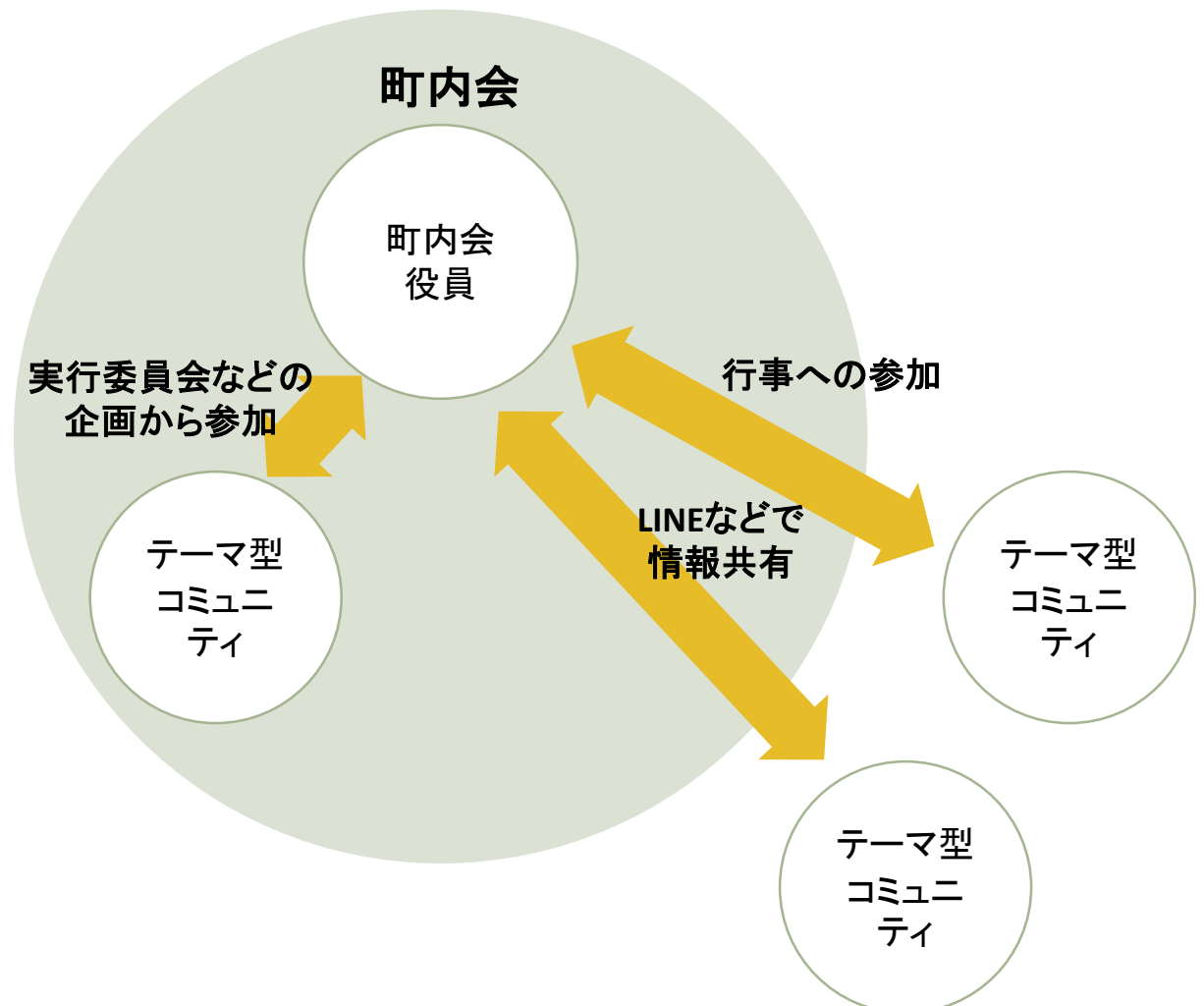
例えば、働き世代の男性に参加してもらうために、町内会でゴルフコンペや会館での飲み会などを行ったり、ママさん達に参加してもらうためにお茶会や料理教室、ヨガサークル、子連れで映画鑑賞などを行うとよいかもかもしれません。

また、事業を企画する際には、ターゲットとなる層の数名に実行委員会などの会議に参加してもらうとよいでしょう。

## ◇町内会とテーマ型コミュニティのゆるやかなつながり

テーマ型の事業に取り組んだり、既存のコミュニティと接点を持ったからといって、すぐに担い手につなげることは難しいです。

まずは町内会の組織とは住み分けてコミュニティを形成し、イベントへの参加や手伝い、情報共有など、ゆるやかにつながることからはじめてみましょう。



# 4 自分の町内会でテーマ型事業を考える

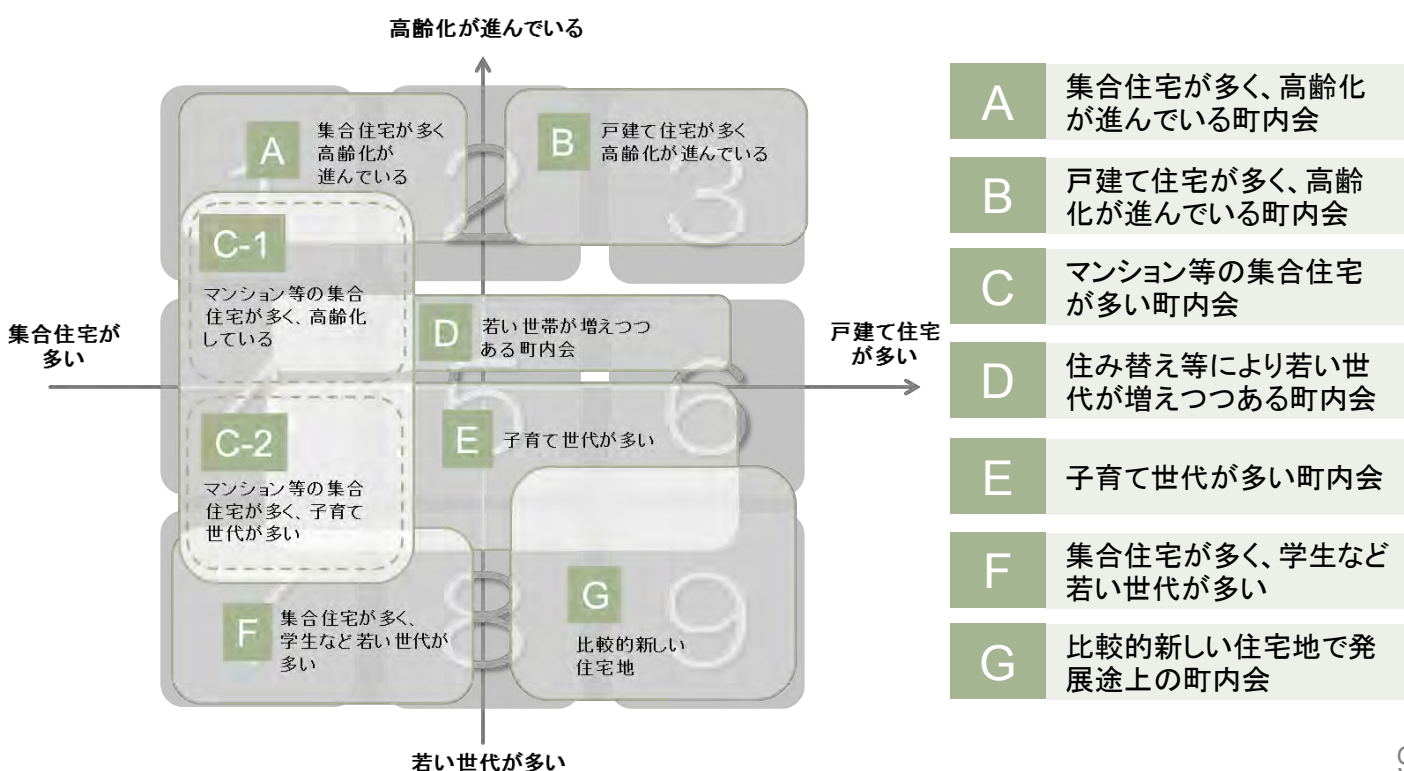
自分の町内会の現状や特性、解決したい課題から、どのようなターゲットに向けた事業に取り組んでいくべきか考えましょう。

ターゲットを絞ったら、有効なテーマを考えて事業の企画につなげていきましょう。

町内会の現状		町内会の主な課題 (担い手不足以外に解決したい課題)
世帯数		
世帯構成 (若い世代・高齢者の割合など)		
立地的特性 (戸建て・集合住宅の割合など)		

今後取り込んでいきたいターゲット

ターゲットから効果的なテーマと事業を組み立てましょう！





多くの住民に町内会活動へ参加してもらうため、ターゲットごとに関心の高いと思われるテーマとそのテーマに沿った取組を考えました。ターゲットやテーマを4つに絞って、住民の関心を高めるアイデアを考え、共有しました。

## ■高齢者の見守り

- ・ 個人情報や高齢者本人の拒否により、見守りたくても見守れない状況がある。
- ・ アンケートで見守りを受ける意向があるか確認してリスト化することが必要。

### ◇向こう3軒両隣、気かけ合い、助け合う地域に

- ・ ごみ出しサポートなど日常生活での見守り
- ・ お弁当やパンを高齢者宅にお届けで、見守られる楽しみをつくる
- ・ 高齢者の見守りをレベル分けする

## ■無関心な人を取り込む

- ・ 輪番制を導入して2年で役員を総入れ替えしても、仕事を覚えた頃には任期を終えてしまう。
- ・ 新しい取組を行ったり、活動を周知して関心を向けてもらうことが必要。

### ◇関心を高める事業

- ・ 麻雀や飲み会などで将来の担い手を見つける。

### ◇広報で周知する

- ・ 町内会の必要性や取組内容を周知することで、関心を高めしていく。

## ■子育て世代との関わり

- ・ 子育て世代の関心を高め、参加を増やしたい。

### ◇地域ネットワークの活用

- ・ 青少年育成委員会や児童委員などのネットワークを活用して、子育て世代にアプローチする。

### ◇子育て世代の交流の場づくり

- ・ バーベキューや流しそうめん、もちつきなどの新しい取組で子育て世代に参加してもらう。
- ・ 知識がある方にアドバイスをもらいながら子育てサロンなどの子育て支援事業を行う。

## ■環境衛生の取組

- ・ カラス対策やごみボックスの保管方法が課題となっている。
- ・ 住民のモラルを是正することが必要(なかなか解決されない永遠のテーマ)

### ◇子ども一緒に取り組みモラル向上

- ・ 子どもと一緒にごみ拾いを行い、その様子を回覧板などで発信して、大人のモラル向上を図る。

### ◇楽しく取り組む

- ・ ごみ拾いの後に飲み会などの楽しみをつける。

---

# 町内会未来塾テーマ別講座④

若い人に参加してもらうために  
～効果的な情報発信～

---

平成29年11月25日（土）

13：00～16：00

# 1 町内会の見える化

町内会活動の活性化のために、住民に町内会に目を向けてもらい、イベントなどの事業へ参加してもらうことが必要になります。

そのためには、町内会がどのような組織なのか、どのような事業を行っているのかなどの情報を発信して「町内会の見える化」を行っていきましょう。

## 情報発信ツール

町内会の情報発信ツールとして、回覧版は必要不可欠なものになりますが、さまざまなツールを組み合わせた情報発信を行うことで、参加者の拡大につながります。

特に、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用して行くことで、若い世代など、これまで参加が少なかった新たな層への情報発信が可能になります。

### 回覧板

- 町内会で最も身近な方法
- 定期的に活動などを周知できる
- 基本的には、会員のみへの情報発信ツール

### チラシ

- イベントのお知らせや加入のお願いなどに活用
- 目を引くデザインで「気づいてもらう」ことができる
- 掲示板に貼り出すなども可能

### パンフレット、ガイド

- 町内会の活動や役割などを組織について知ってもらうために保存版として活用可能
- 情報が頻繁に更新されない内容などのPRに適する

### ホームページ、ブログ

- インターネット上で、不特定多数の人に情報提供可能
- 更新が必要
- 情報を受ける人が自らページを見ないと情報は発信されない

### SNS

- インターネット上で人と人がつながることのできる会員制のオンラインサービスサービス
- FacebookやLINEなど、若い世代にとって主流の情報交換ツールとなっている

### SNSについて

近年、インターネットやスマートフォンなどの普及により、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用する人が増えています。

SNSでは、友人・知人間のコミュニケーションを促進する手段や場、あるいは趣味や嗜好、居住地域、出身校、「友人の友人」といった自身と直接関係のない他人との繋がりを通じて新たな人間関係を構築することができます。

特に若い世代にとって、情報交換ツールとしてSNSは欠かせないものとなっています。

### SNSの種類

SNSにはさまざまな種類があり、それぞれに特徴があります。

#### Facebook(フェイスブック)

facebook.



友達や知り合い、つながりがある人と写真を共有したり、交流を楽しんだり、情報を集めたりできるサービス。

#### Twitter(ツイッター)

twitter



140文字以内の短い投稿(ツイート)を入力して、みんなで共有するサービス。情報を発信したり、情報を集めたりすることに適している。

#### LINE(ライン)



友達どうしや家族での交流がメインの連絡や情報伝達のサービス。スタンプを使ったコミュニケーションが手軽で人気。

#### Instagram(インスタグラム)



Instagram

きれいな写真やおしゃれな写真など、基本的には写真共有SNSのサービス。コメントや文章をつけることで、友達などを交流することができる。



## Facebookとは

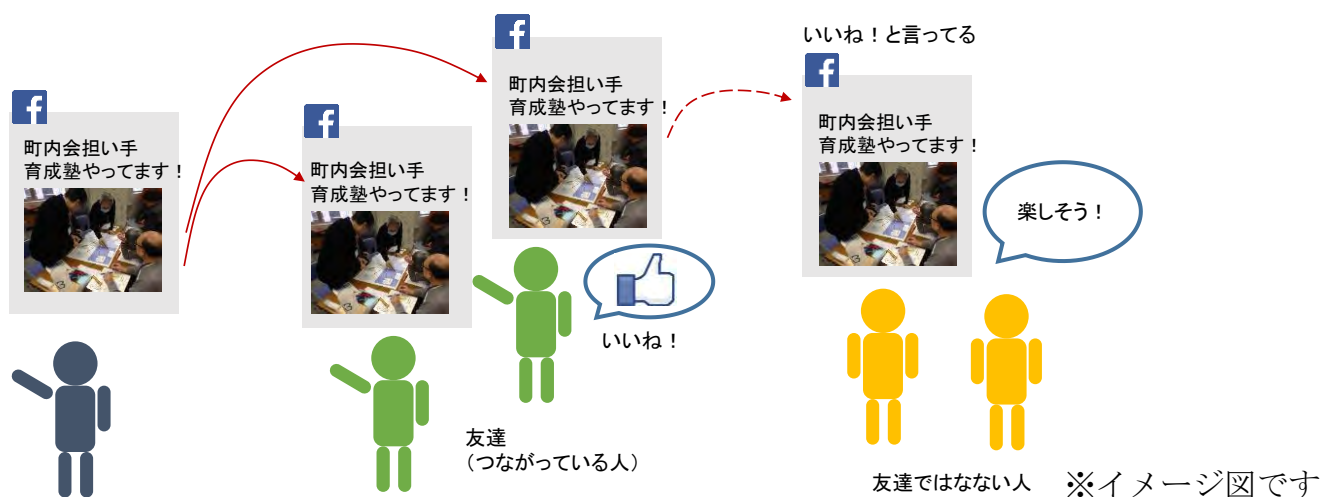
Facebook（フェイスブック）は、友達とメッセージのやりとりや近況の確認などの交流ができるSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）です。

### 主な特徴

- ・基本的に実名で登録
- ・登録している人同士で、友達になることができる
- ・自分のニュースフィード（ホーム画面）に、友達の近況などの投稿や情報が集まってくる
- ・オンラインサービスなので、パソコンでの操作、スマートフォンでの操作ができる（リアルタイムで情報発信できる）

## Facebookといえば「いいね！」

自分が投稿した近況や写真が友達（つながっている人）に発信されていきます。また、「いいね！」されることで、友達の友達にも情報が拡散されていきます。



## 町内会でのFacebookの活用方法（例）

Facebookは、スマートフォンでも近況や写真を投稿できるため、リアルタイムに手軽に情報発信できます。また、イベント機能などを活用することで、お祭りなどのイベントを発信したり、参加者を募ったりもできます。

- ・町内会に関わる活動（個人も含め）の様子を、写真とコメントで発信
- ・町内会のページをつくることで、町内会の組織や活動の情報を発信
- ・イベント機能を活用して、イベントの告知や募集

# 3 Facebookを活用した情報発信

## Facebookを活用した町内会や地域活動の発信例

### ◇石山まちづくりセンター（南区）



石山まちづくりセンターFacebookページ（PC版）



（スマートフォン版）

### ◇ライブヒルズ町内会（清田区）



ライブヒルズ町内会Facebookページ（PC版）



（スマートフォン版）



Facebookによる広報に、高校生ボランティアを任命。

## アカウントを登録しよう

Facebookには登録するにはメールアドレスが必要になります。事前にメールアドレスを用意しましょう。

インターネットでFacebookのホームページにアクセスします。姓、名、メールアドレス、希望のパスワード、性別、生年月日を入力して「アカウント登録」を選択します。



## アカウント登録

情報の共有範囲は設定で管理できて安心です。

姓  名

メールアドレスまたは携帯電話番号

メールアドレスまたは携帯電話番号を再度入力

パスワード

生年月日

年  月  日  生年月日を入力していただく理由

女性  男性

アカウント登録をクリックすることで、当サイト利用規約及びCookieの使用を含むデータに関するポリシーに同意するものとします。

アカウント登録

著名人、バンド、ビジネスのためにFacebookページを作成

### Facebookのアカウント登録

#### ■登録するにあたって準備するもの

- ・メールアドレス

#### ■登録する項目

- ・姓名
- ・メールアドレス
- ・希望のパスワード
- ・性別
- ・生年月日

※パスワードの設定には、ひとひねりが必要です。自分や家族の誕生日や電話番号、ゾロ目などの解読されやすいパスワードは設定しないようにしましょう。

## プロフィール情報などを登録しよう

Facebookでアカウントを登録したらプロフィール情報などを登録していきます。プロフィール情報は後から登録することもできます。

### Facebookに登録すること

- ・名前
- ・出身地・居住地
- ・出身高校や大学、勤務先
- ・趣味や関心があること
- ・プロフィール写真を設定 など

※必ずしも全てを登録する必要はありません。後から追記・変更ができますので、必要な情報のみ登録しましょう。

### 3 Facebookを活用した情報発信

#### 知り合いを探して、友達になろう

Facebookには多くの人が登録しているため、知り合いもFacebookを使っているかもしれません。

もし知り合いを見つけたら「友達申請」をしましょう。相手から「承認」されれば友達としてその人が投稿した記事を見たいり、コミュニケーションを図ることができます。

その逆で、知り合いから「友達申請（友達リクエスト）」が来ることもあります。

##### 知り合いを探す

- ・ 知り合いは名前の他に出身地や居住地、学校、勤務先などから検索することができます。
- ・ 友達申請を受けたときには、必ず相手のプロフィールなどを見て、本当に知り合いであるかを必ず確認しましょう。
- ・ ダミーアカウントの可能性もあるため、身に覚えがない人から「友達申請」が来たら「保留」を選択して放置しましょう。

#### 近況や写真を投稿（アップ）しよう

Facebookには動画や写真、文章などを投稿することができます。

ニュースフィードには、自分の投稿したものだけでなく、友達になった人の近況なども表示されます。

近況などを投稿する際は、投稿の公開範囲を設定することができます。



投稿する文章を記載  
します。

クリック  
します

写真を選んで投稿で  
きます。



＼ 投稿完了 ＼

# 3 Facebookを活用した情報発信

## 「いいね！」しよう

友達が投稿した写真や記事などに、コメントを書き込むことができます。

コメント以外にも、共感や評価できる場合などに、「いいね」ボタンをクリックすることもできます。

「いいね！」をクリックした場合、記事や写真を投稿した相手にも、自分の名前がわかるので、自分が共感や評価していることを簡単に伝えることができます。

＼ クリック ／



「いいね！」してくれた人の名前や人数が表示されます。



## Facebookページを作成しよう

友達が投稿した写真や記事などに、コメントを書き込むことができます。

コメント以外にも、共感や評価できる場合などに、「いいね」ボタンをクリックすることもできます。

「いいね！」をクリックした場合、記事や写真を投稿した相手にも、自分の名前がわかるので、自分が共感や評価していることを簡単に伝えることができます。



例) ようこそ さっぽろ



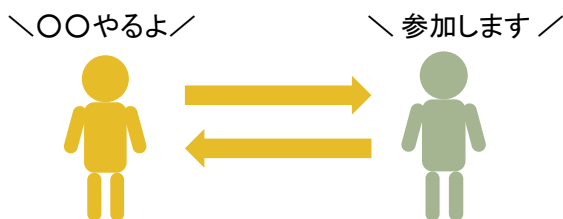
## LINEとは

LINEとは、スマートフォン、携帯電話、パソコン、タブレットで 사용할 수 있는 무료의 커뮤니케이션 도구입니다. 메인 기능인 「トーク」에서는, 메일보다도 훨씬 빨리 연락을 취할 수 있고, 통화가 무료인 등 편리한 기능이 많이 있습니다.

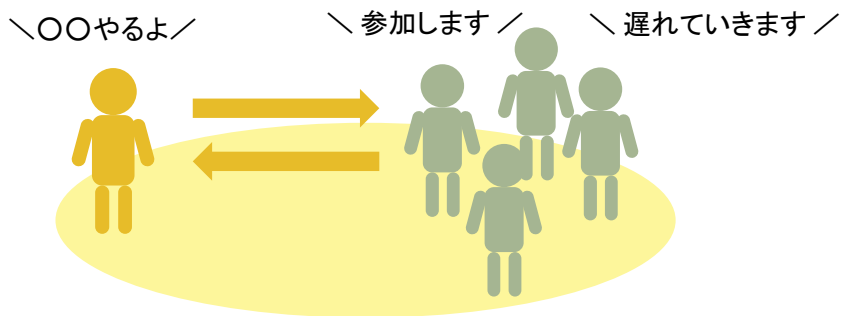
日本国内では、若い世代を中心に7,000万人以上が利用しています。とにかく会話のやりとりがスピーディなのがLINEトークの最大の特徴です。

個人・  
グループに  
連絡

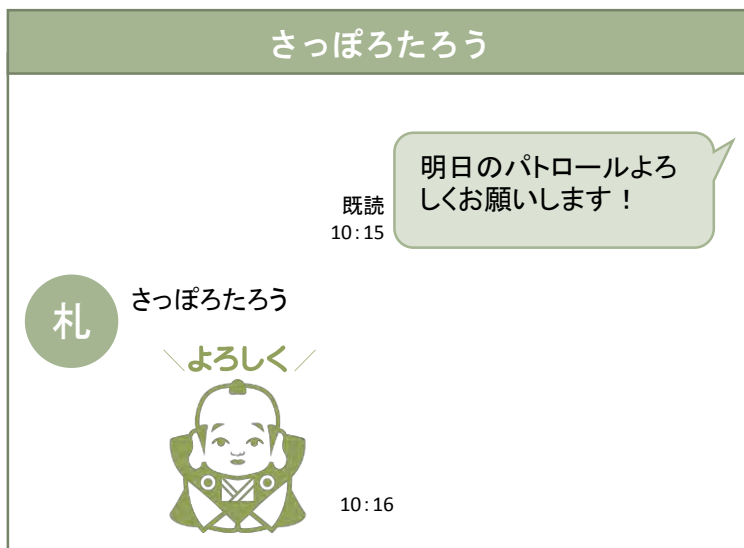
### ◇1対1で連絡



### ◇グループに連絡



スタンプで  
素早く手軽に



## LINEアカウントを登録しよう

LINEはスマートフォンだけではなく、フィーチャーフォン（ガラケー）やパソコン、タブレットなどから利用ができます。利用する際は、電話番号（固定電話・携帯電話）やメールアドレス、Facebookのアカウントを利用してLINEアカウントを作成することができます。

### ◇LINEアカウント登録に必要なもの

それぞれのツールから登録する場合、下記を準備しましょう。

LINEの公式サイト (<https://line.me/ja/download>) より、スマホ、パソコン、タブレットなどにアプリをダウンロードし、手順に従って登録を行います。

※ガラケーの場合は<http://line.naver.jp/m/>にアクセスし、空メールを送り登録を行います。

スマートフォンから	パソコンから	Facebook (携帯またはPC)	フィーチャーフォン (ガラケー)
・電話番号 ・ショートメール (SMS)	・電話番号 (携帯または固定電話)	・Facebookアカウント ・メールアドレス (携帯またはPCメール)	・メールアドレス ※ドメイン指定解除 必須

### LINEのセキュリティ、大丈夫？

- ・アカウント登録後は、パスワードやメールアドレスを設定することによりセキュリティが向上するため、安心して使うことができます。
- ・友達以外からのメッセージを受け取らない設定もあります。
- ・知らない人からメッセージが来た場合は、無視またはブロックをしましょう。

### MEMO

---

---

---

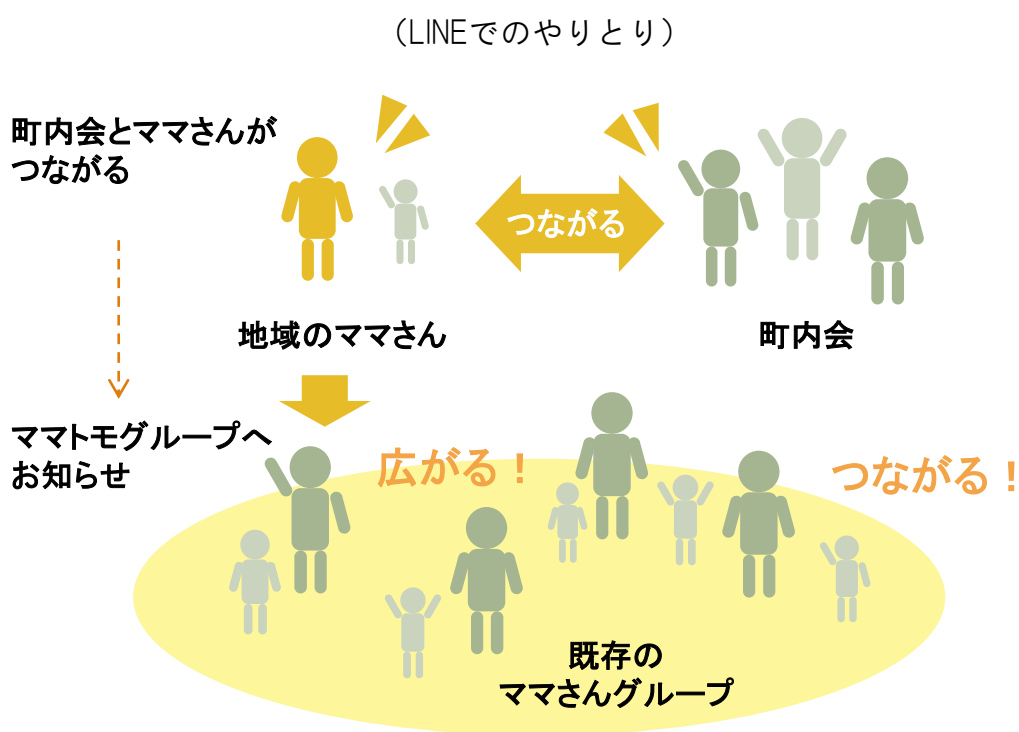
---

# 4 LINEを活用した情報発信

## グループLINEで若い世代とゆるくつながる事例

### ◇ママさんLINEグループ

- ・ママさんたちのゆるやかなコミュニティでLINEグループを作成。
- ・そのうち、ひとりのママさんが町内会がつながり、地域のお知らせや町内会行事のお手伝い募集などの呼びかけを行い、行事に参加してもらっている。



A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the header. It is intended for the main content of the memo.

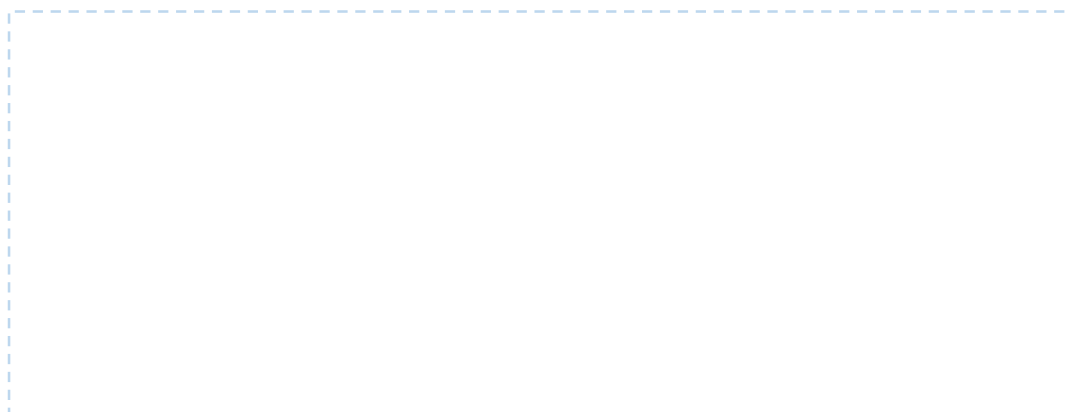
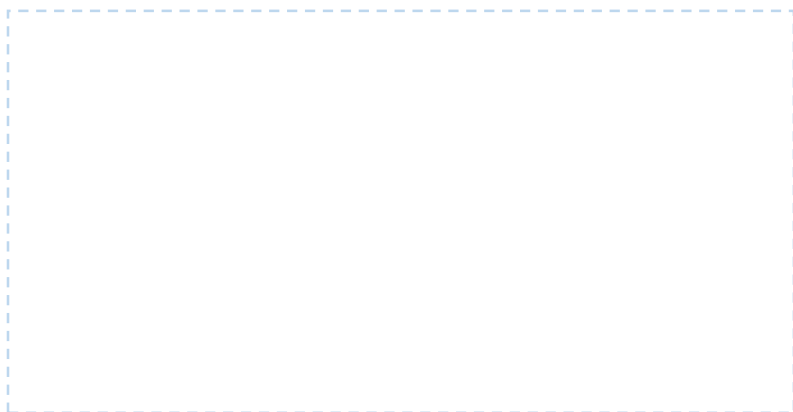
# 若い人の心も体もGET！プロジェクトシート

プロジェクト名  
(おもしろいタイトル)

## 楽しいこと・興味関心

◇やること (イベント内容)

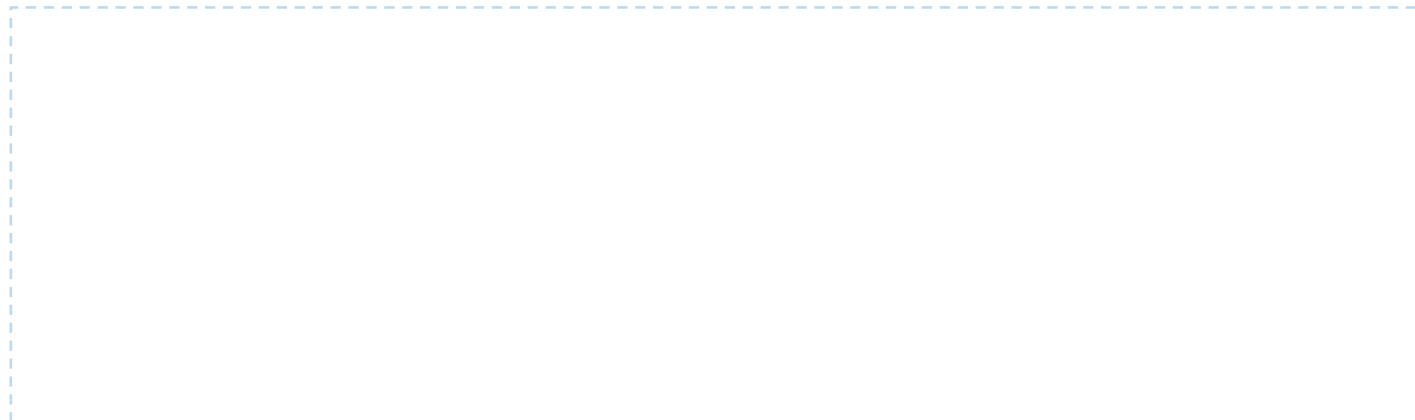
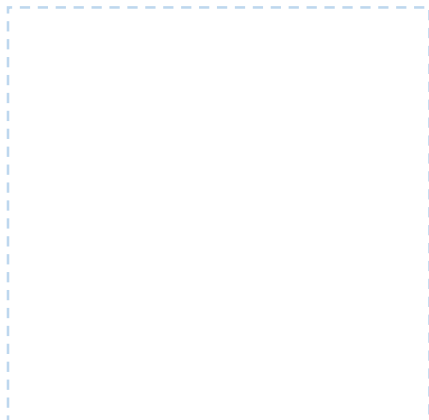
◇どのようにやるか (楽しいポイント)



## 情報発信の工夫

◇ツール

◇目にとまる見せ方 (デザイン・キャッチコピー)



3グループに分かれ、「若い人の心も体もGET!プロジェクト」として、若い人の参加を促すプロジェクトを考えました。どんな行事にどのような“楽しいポイント”を盛り込むか、また、目にとまる情報発信の工夫点などのアイデアを出しました。

## ■Aグループ

プロジェクト名: 冬だよ子ども全員集合!

### 楽しいこと・興味関心を持ってもらう内容

#### ◇やること(イベント内容)

- 冬に体を動かせるもの(もちつき、雪合戦、雪像づくりなど)を札幌雪祭り風にやってみる。
- 小学生をターゲットにして、親世代も巻き込む。
- 甘酒、わたあめなども用意し、甘酒で暖まりながら地域の人とコミュニケーションをとる。



#### ◇どのようにやるか(楽しいポイント)

- 競い合うと盛り上がる。達成感を味わう。
- チーム戦にし、チームで雪像づくりを行い優勝したら賞品がもらえると良いのではないかな。
- 参加しただけで子どもが喜ぶように、参加賞も用意する。

### 興味がわくような情報発信の工夫

#### ◇ツール

- いろいろなツールを使って情報発信を行う。
- 若い親世代向け→Facebookを活用して発信。
- 高齢者向け→回覧板、FAX。
- 学校と掛け合って、宣伝の協力をしてもらう。



#### ◇目にとまる見せ方(おもしろいキャッチコピー)

- ゆるキャラを使って親しみやすさを演出する。
- 子ども大集合、子ども第一、雪と遊ぼうなどの子ども向けの言葉でPRする。

## ■ Bグループ

### プロジェクト名：創ってみようぜ！

#### 楽しいこと・興味関心を持ってもらう内容

##### ◇やること(イベント内容)

- ・ 米村でんじろう先生のまねで、子ども向けのサイエンスイベントを行う
- ・ ターゲットは小学生とする。
- ・ 外でやる実験もあるため、夏の土日に行く。



##### ◇どのようにやるか(楽しいポイント)

- ・ 小中学校の先生に指導をしてもらう。
- ・ 先生はでんじろう先生の仮装をして、「でんざぶろう先生」として登壇してもらう。
- ・ 参加型で、家に持ち帰ることができるものを作り、子どもが作品を親に自慢できると良い

#### 興味がわくような情報発信の工夫

##### ◇ツール

- ・ 回覧板、ポスター
- ・ 町内会館の掲示板
- ・ SNSの活用
- ・ 学校や児童会館にポスターを貼ることで、子どもの目にとまりやすくなる。
- ・ 小学校に協力してもらい、お便りとして配ってもらう。



##### ◇目にとまる見せ方(おもしろいキャッチコピー)

- ・ 「空前絶後の化学実験 あなたもでんじろうになりませんか」
- ・ 「君もでんじろうだ！！」
- ・ 「目指せノーベル賞」

## ■ Cグループ

## プロジェクト名：冬の運動会(仮)

## 楽しいこと・興味関心を持ってもらう内容

## ◇やること(イベント内容)

- 冬の運動会を実施(雪像づくり、もちつき大会)
- ターゲットは50～60代の世代。
- 50～60代の関心をひくため、その子ども(30～40代)や孫世代にアプローチをする。



## ◇どのようにやるか(楽しいポイント)

- 雪像づくりは三世代で行う(一緒に雪を積むなど)。
- 米が潰れてもちになっていくまでを観察するなど、食育の要素も入れる。
- もちつきは競技として実施する。

## 興味がわくような情報発信の工夫

## ◇ツール

- 回覧板の活用。
- 学校を通して小中学生の子どもから親世代に発信してもらう。



## ◇目にとまる見せ方(おもしろいキャッチコピー)

- 子どもたちもついてみよう! もちつき

**地域のみんながいきいき！**



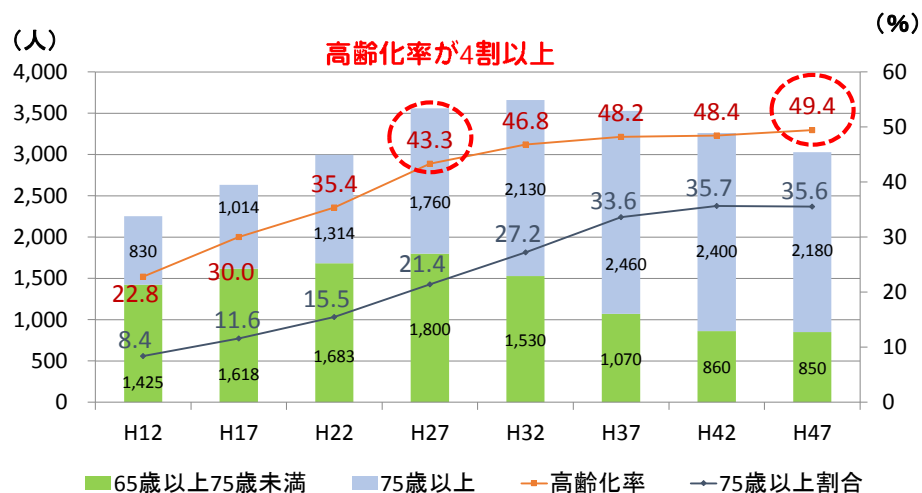
# みんなですすめる 町内会の活性化



**青葉地区の現状と  
これまでの取組について**

## 青葉地区について

札幌市内でも特に高齢化が進んでいる地区です



※出典：国勢調査 小地域集計結果、将来推計人口に基づく地域分析調査 2

## まちづくりのレシピより...

高齢化が進み子どもたちが少ない中、  
多世代が交流できる事業を！

三世代交流事業を実施

町内会



学校



地域の  
人材

3

## まちづくりのレシピより…

### 住民の特技を活かして子どもと交流



⇒サタデースクール事業に発展！

4

## 町内会の取組

### ラジオ体操



5

## 町内会の取組

### ツリーイング・ホテル見学会



6

## 町内会の取組

### 地域つながりまち歩き



7

## 町内会の取組

### ふるさと青葉コンサート



8

## 町内会の取組

### 子どもと大人の遊びの広場・雪中運動会



9

# あおばまちづくりビジョン について

10

## あおばまちづくりビジョンについて

地域の将来についてみんなで考えるため、

『あおば未来会』を結成！！（平成28年度）

町内会だけではなく、地域のさまざまな主体がメンバーとなり、地域の現状や課題を共有し、地域の将来像を考えました。

- ★地域の課題や理想の将来像を共有することが大切。
- ★地域の想いをまとめて、地域の特性や資源を活かしたまちづくりを進めることが必要。

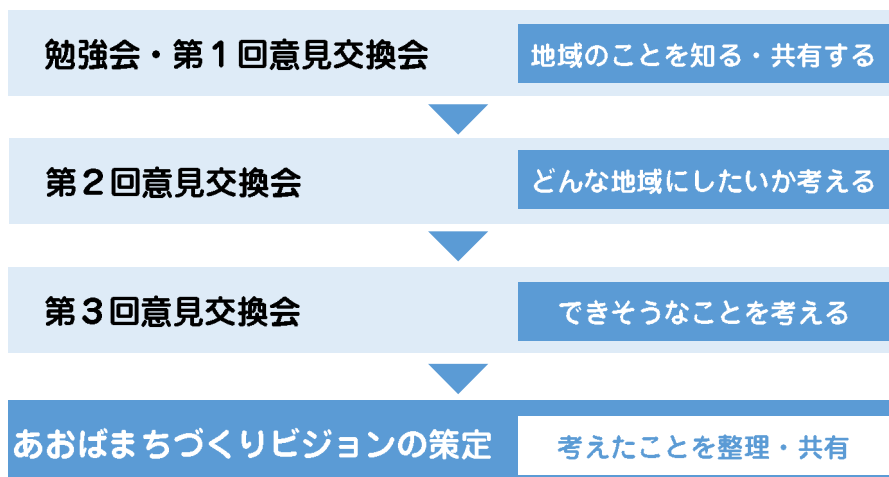
## 「あおばまちづくりビジョン」を策定



11

## あおばまちづくりビジョンについて

### まちづくりビジョン作成の経緯



12

## あおばまちづくりビジョンについて

### 地域のまちづくりビジョンが完成！



13

## あおばまちづくりビジョンについて

将来像と3つの目標を掲げました。

【将来像】

みんなでつくる“いきいき”あおば

- ①高齢者が元気で見守りがあるまち
- ②みんながまちづくりにかかわっているまち
- ③みんなが集まれる場や機会があるまち

ビジョンを実現するための取組として  
“いきいきあおばプロジェクト”が始まっています

14

あおば未来会の取組  
～いきいきあおばプロジェクト～

15

## あおば未来会の取組～いきいきあおばプロジェクト～

### ゆるスポ体験会



高齢者が  
元気で見守りが  
あるまち

16

## あおば未来会の取組～いきいきあおばプロジェクト～

### ウォーキング& ノルディックウォーキング



高齢者が  
元気で見守りが  
あるまち

17

## あおば未来会の取組～いきいきあおばプロジェクト～

### 親子でお泊り会



みんなが  
まちづくりに  
かかわっている  
まち

18

## あおば未来会の取組～いきいきあおばプロジェクト～

### 青葉カフェ



みんなが  
集まれる場や  
機会があるまち

19

## あおば未来会の取組～いきいきあおばプロジェクト～

### あおば未来会のこれから…

- ★できることから取り組んでいく
- ★参加してくれる人や協力してくれる組織を  
少しずつ増やしていく
- ★長く続けられるよう役割分担を明確にする
- ★高齢化などの課題に対応しながら、前向き  
に取り組む

## テーマ別講座⑤「魅力的なイベントや取組を考えよう～まちづくりのレシピを参考に～」

テーマごとに4グループに分かれ、テーマに沿って自分の町内会の課題を出し合い、課題に対応した取組を考えました。その際、グループ内を1つの町内会と仮定して、“さまざまな主体との連携”を視点にアイデアを出し合いました。

## ■Aグループ(テーマ:交流の場づくり)

## 課題

## ◇住民同士のつながりが薄い

- 昔からの住民と新しく入ってきた住民のつながりが薄い。
- 引きこもりの高齢者との交流する仕組みが必要。
- 日々のあいさつなどの交流が少ない。

## ◇交流の場が必要

- 単町の規模(加入者数や企業など)でもできる交流の場づくりを考えたい。
- 会館以外で気軽に活動できる場所が欲しい。

## 取組のアイデア

## ◇ママさん達とのつながり【PTAと連携】

- もちつきや昔あそびなど、子ども向けの行事を行ってママさん達にも参加してもらう。
- お手伝いで来るママさん達と顔見知りになれば、その後も声をかけやすい。
- PTAから声かけしてママさん達に参加してもらう。

## ◇もちつき大会【高齢者施設や児童会館と連携】

- もちつき大会は多世代が参加しやすい。
- 高齢者施設や児童会館で交流事業を実施する。
- 児童会館で子ども達に周知して参加してもらう。
- 施設と連携して実施する場合、施設の行事などに町内会として積極的に協力することも必要。

## ◇カフェを定期的開催

- 子育てサロンと高齢者サロンを合同で開催してカフェを実施する。
- おしゃべり好きな方は、地域にカフェがあれば集まってくれるのではないかな。

## ◇単身高齢者との交流

- もちつき大会でついたもちを後日配布するなど、行事があったことを知らせて、今後出てきたいと思ってもらうきっかけにする。
- 子どもたちからの手紙やクリスマスカードなどを、引きこもりがちな単身高齢者へ配る。

ポイント:事業を行うにしても、まずは日々の基本的なつながりづくり・あいさつの関係が大切!

## ■ Bグループ(高齢者福祉)

### 課題

#### ◇高齢者の見守り

- 選挙の投票や買い物に行けない高齢者がいる。
- 特に男性は引きこもりがちである。
- 女性の一人暮らし世帯には、男性は見守りに行きづらい。
- プライバシーを守りながら見守りの必要な人を把握し、管理することが必要。

#### ◇除雪

- 除雪ができない高齢世帯がある。
- 福祉除雪を行うボランティアの担い手も必要。

#### ◇その他

- 高齢者を支援する仲間(運営スタッフ)が必要。
- 福祉施設へ入居する際の荷物の引取先がない。

### 取組のアイデア

#### ◇高齢者の見守り【宅配業者などと連携】

- 牛乳や新聞配達、コープ(トドック)などの事業者と連携して見守りを行う。
- 見守りが必要な世帯の目印として、玄関先に花壇や植物を植える。

#### ◇買い物支援【福祉施設と連携】

- 福祉施設と連携して、施設の送迎バスを利用して定期的にスーパーへ送迎してもらう。

#### ◇選挙

- 投票に行けない高齢者を対象に、自宅付近で出前選挙を行う。

#### ◇健康づくり【スーパー、老人クラブと連携】

- スーパーと連携して、歩いた歩数によってポイント換算され、そのポイントでスーパーの支払いができるシステムをつくる。
- 老人クラブで趣味の集まりを行い、出てきてもらう(パークゴルフ、麻雀、花壇づくり、カラオケなど)。

#### ◇集まる場づくり

- 気軽に集まって食事ができる地域の場をつくる。
- 住民アンケートで、集まる場のスタッフを募集する。

#### ◇除雪支援【高校と連携】

- 高校生に除雪をお願いする。

ポイント:事業を進めるにあたり、マイナス思考にならず、ポジティブに考えて行動することが大事!

## ■ Cグループ(高齢者福祉)

### 課題

#### ◇高齢者の健康づくり

- ・ 50代～70代の10年後の健康状態が心配である。健康寿命を延ばしていきたい。

#### ◇町内会やサロンなどとの接点

- ・ 高齢者サロンの顔ぶれが固定化している。
- ・ 老人クラブに出てこない人が多い。

#### ◇マンション住民との交流

- ・ 戸建てでの孤独死が多い。
- ・ マンション住まいの単身高齢者との交流や接点がない。

#### ◇要支援者の情報把握

- ・ 要支援者をどのように把握するかが課題である。
- ・ 要支援者のマップづくりを行いたい。
- ・ 高齢者の見守りと防災が課題である。

### 取組のアイデア

#### ◇参加のきっかけづくり【病院、社協などと連携】

- ・ 病院と連携し、先生などの専門家を呼んで、健康づくり教室など興味のあるサロンを実施する。
- ・ 社協や福まちの事業と連携する。

#### ◇集まる場づくり【商店街、企業などと連携】

- ・ 商店街や企業とタイアップして、空いている場所を借りる。
- ・ 集まる場があっても男性はあまり来ないので、男性の役割をつくって参加してもらう。
- ・ 女性はおしゃべりができるならば、集まりやすい。

#### ◇あまり出てこない高齢者との接点づくり

- ・ 会費の徴収と見守りをセットにする。
- ・ 班長が町内会費を回収するタイミングで、困りごとや悩み、つぶやきを拾う。
- ・ 役員の自宅で小規模サロンを実施する。

#### ◇参加のきっかけづくり

- ・ 色々なテーマでのサークル活動など、人を集める。
- ・ ひとりではできないことをやる(トランプなど)。

ポイント: 男性に役割をつくって参加を促す「あなたが必要なんです大作戦」を実施

## ■ Dグループ(高齢者福祉)

### 課題

#### ◇地形的な災害

- 2本の川にはさまれている地域では、水害が心配。
- 西区など山に近い町内会では、土砂災害が心配。

#### ◇要支援者のマッピング

- 個人情報への壁が大きいので、要支援者のマッピングがなかなか進まない。
- 要支援者をどのように把握するかが課題である。

#### ◇住民の防災意識

- ほとんどの単町で防災規約をつくっているが、住民の意識は低く、規約が活かされていない。
- 地域の防災組織はあまり機能しておらず、実際の災害時に住民は避難できないのではないか。
- 住民の防災意識を高めるため、実際の避難に近いかたちで訓練を行う必要がある。

### 取組のアイデア

#### ◇住民の意識向上【病院、社協などと連携】

- 避難所をわかりやすく書いた紙を各世帯に配布し、常に目に入るところに掲示してもらう。

#### ◇日頃からの連携【病院、スーパーと連携】

- 災害時には病院のロビーを介護が必要な方や体が不自由な方の一時避難場所にしたい。
- スーパーやコンビニと連携して、災害時に町内会への食料を提供してもらう。

#### ◇小学校でサバイバルお泊り会【小学校と連携】

- 実際の避難場所となる小学校と連携して、体育館で1泊2日のお泊り防災訓練を実施。
- ゲームや体験型防災クイズなどを行って、楽しく防災意識を身につけてもらう。
- ガスや水道、電気を止めて、実際の災害時と同じ状況の中で過ごしてもらう。
- 住民同士のコミュニケーションの機会にもなるため、災害時の支え合いの意識も向上する。

ポイント:楽しいイベントを行いながら、住民の防災意識を高める

# 町内会アドバイザー派遣

SAPPORO

町内会アドバイザー派遣では、町内会それぞれの課題やお悩みを聞き取り、町内会の活性化に向けた支援内容に合わせてアドバイザーを派遣します。(1地区あたり3回程度の支援を予定)

## アドバイザーの支援例

具体的な支援例は、以下のとおりです。支援例に記載していないお悩みや課題についても支援します。

### ① これまでと違うガイドやチラシをつくりたい

町内会未加入者に対して、町内会の役割や活動、重要性を知ってもらうためのガイドやチラシなどの作成、勧誘や情報発信など未加入者へのアプローチなどを支援します。

### ② 若い世代の住民に届く情報発信がしたい

若い世代への情報発信ツールとなっている SNS について、Facebook ページや LINE を活用している町内会の事例紹介や使い方のアドバイスなどの支援を行います。

### ③ 若い世代や住民の意向を知りたい

若い世代など、これまであまり参加が多くない層をターゲットとして、アンケートでのニーズの把握を通じて、交流会やサロンなどの新たな層に参加してもらう交流の機会づくりを支援します。

### ④ 未加入者へのアプローチ方法を知りたい

町内会未加入者に対して、町内会の役割や活動、重要性を知ってもらうためのガイドやチラシなどの作成、勧誘や情報発信など未加入者へのアプローチなどを支援します。

### ⑤ 新しいアイデアでイベントを盛り上げたい

地域ニーズにあった企画内容やその検討方法などについてワークショップを行いながら、イベントの企画案の作成を支援します。また、場合によってはイベント当日の運営支援を行います。

### ⑥ 今後の町内会のあり方を住民と共有したい

町内会の存続について、住民と一緒にこれからの町内会のあり方を考える勉強会やワークショップの実施を通じて、住民の町内会への関心を高めるきっかけづくりを支援します。

### ⑦ テーマに沿った活動の事例を知りたい

子育て、防犯・防災、若い世代とのかかわり、会計・個人情報など町内会で課題となっているテーマに関して、専門家からの事例紹介やアドバイスを行い、課題解決のための具体的な活動に向けた支援を行います。

### ⑧ 役員の引継ぎをわかりやすくしたい

役員の担い手不足に対応して、ワークショップの実施や専門家からアドバイスを受け、役員の負担軽減や役割の明確化など担い手確保に向けたマニュアルづくりを支援します。

### ⑨ 町内会の事業を見直したい

町内会の事業に多くの住民に参加してもらうため、ニーズにあった事業に向けた改善点や工夫点をワークショップを通して検討し、町内会活動の見直しにつながる支援を行います。

### ⑩ 町内会の組織体制を見直したい

役員の任期や役割の見直しなどに関する事例の紹介を行い、今後の運営に関する意識改革や若い世代が参加しやすい組織となるようアドバイスを行い支援します。

支援の流れ

申込み

1回目

2回目

3回目

町内会のお悩みを聞き取り、しっかりと現状分析してから支援内容を決定します。

町内会のタイプに応じた効果的な支援を実施します。

過年度の支援事例は中面で紹介していますので、是非御覧ください。

先着  
10地域

申込期間 平成 30 年 8 月 16 日～平成 31 年 2 月 28 日

お申込み方法は裏面を御覧ください。

# 町内会アドバイザー派遣 過年度の支援事例

## 支援事例① Facebook ページ作成支援

### 主な課題

- ・町内会行事への参加者が固定化している。また、参加者自体も減少してきている。
- ・若い世代が地域にいるため、町内会への関心を高めてもらい、行事に参加してもらいたい。

### 1回目

#### 課題の聞き取り

- ・町内会長及び役員数名と打合せを実施。
- ・行事に若い世代にも参加してもらいたいため、若い世代への情報発信強化を目的に町内会の Facebook ページの作成を支援することが決定。

### 2回目

#### Facebook ページについての講習会

- ・Facebook などの SNS を活用した情報発信について、アドバイザーによる講習会を実施。
- ・講習会には地域の学生にも参加してもらい、町内会役員と一緒に町内会の Facebook ページを作成。

### 3回目

#### フォローアップ講習会

- ・町内会の Facebook ページを町内会役員が運用していくためのフォローアップを実施。
- ・今後の活用についてアドバイス（広報担当を決めたり、QR コードをつけて回覧板でお知らせするなど）。

### 成果

- ▶ 学生が広報担当となり情報発信を実施
- ▶ それきっかけで現在も学生が町内会に関わっている



## 支援事例② 親子向けイベント企画・実施支援

### 主な課題

- ・町内会役員の担い手不足を解決するため、今のうちに子育て世代に町内会に関わってもらい、将来的な役員候補を見つけたい。
- ・日ごろ町内会に関わりの少ないパパさんたちに参加してもらおう機会をつくりたい。

### 1回目

#### 課題の聞き取り

- ・町内会長及び役員数名と打合せを実施。
- ・将来的な担い手の確保を見据えて、子育て世代のうち特に日頃参加の少ないパパさんをターゲットに、親子で楽しめるイベントを企画・実施することが決定。

### 2回目

#### 親子向けイベント内容の企画・検討

- ・アドバイザーが考案したイベント企画案を元に企画を検討。役員数名と協議のうえ、パパさんが活躍できるイベントとして「凧づくり&凧あげ」を実施することが決定。
- ・参加者募集のチラシはアドバイザーが作成。

### 3回目

#### 親子向けイベントの実施

- ・イベントの準備（会場準備、備品手配、軽食作りなど）は、町内会が主体で実施。
- ・イベントの進行管理は、アドバイザーが実施。
- ・イベント後に参加者のパパさん、ママさんと町内会役員で、町内会についての座談会を実施。

### 成果

- ▶ 子育て世代のニーズなどを把握
- ▶ 若い世代と町内会役員、お互いの顔が見えるきっかけとなった



# 各回ごとの支援内容と支援の成果

## 支援事例③ 住民向けアンケート調査実施・分析支援

### 主な課題

- ・町内会行事への参加者を増やすため、町内会の事業について住民のニーズを把握し、その結果を事業の見直しに活用したい。
- ・住民のニーズに合わせた事業を行い、参加から将来的な担い手に繋げたい。

### 1回目

#### 課題の聞き取り

- ・町内会長及び役員数名と打合せを実施。
- ・行事への参加者を増やすため、住民のニーズを把握するアンケートを実施することが決定。
- ・アンケートでは、行事に関する設問のほか、役員確保につながる設問も入れることが決定。

### 2回目

#### アンケート調査票の作成・結果分析

- ・町内会で実施するアンケート調査票を、アドバイザーが作成。
- ・アンケート票の印刷や配布・回収は町内会が実施。
- ・アンケート結果を元に、アドバイザーが分析。

### 3回目

#### 分析結果をもとに今後の事業を提案

- ・役員会で、アドバイザーがアンケートの分析結果を報告。
- ・事業の「必要性」と「認知度」による分析から、優先順位づけを提案。
- ・役員の担い手確保のためにアプローチ方法についてアドバイス。

### 成果

- ▶ 分析結果を事業の見直しに活用
- ▶ 分析や今後に向けた提案により役員の機運が高まった

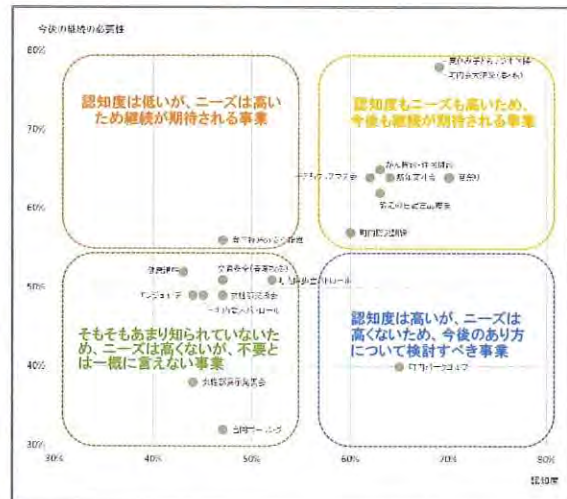
## 調査の参考資料

### ■ アンケート用紙 (参考)

#### アンケート項目 ※抜粋

- 行事について
  - ・町内会行事への参加経験
  - ・参加したことのない理由
  - ・知っている行事
  - ・継続した方がよい行事
  - ・時期や内容の検討が必要な行事
  - ・行事の企画に関わりたいか
- 役員の担い手について
  - ・町内会活動へ協力できるか
  - ・役員になることに対する意向
  - ・担い手確保の良い方法
  - ・役員になるための条件

### ■ アンケート分析結果 (参考)



町内会行事の「認知度」と「重要度（今後の継続を望む声）」を分析しました。

ご紹介した支援は一例です。

みなさまの町内会の特性に応じて支援内容をご提案いたします。



# 町内会アドバイザー派遣 お申し込み方法

## アドバイザー支援の注意事項

- ・本制度では、1地区（団体）につき1つのテーマを3回まで支援いたします。（単位町内会または連合町内会でお申し込みください）
- ・10地区での支援を想定しています。先着順となりますので、お早めにお申し込みください。
- ・開催日時については、アドバイザーの都合もありますので、協議の上決定いたします。
- ・開催にかかわる会場は申込者をご用意ください。

## 申し込み方法

申込  
期間

平成30年 **8月16日**～平成31年2月28日

先着  
10地域

申込

**株式会社 KITABA** 担当：松田、小川

札幌市大通東3丁目1番地倉沢ビル3F

メール community@kitaba.co.jp

電話 **011-522-5070** ※電話受付 平日9:00～18:00

FAX 011-522-5870 ※FAX、メールでの申込は受領後に  
担当者から連絡いたします。



希望する支援内容 または 支援例の番号			
貴町内会名		代表者名・役職	
申込担当者名 役職		ご連絡先 (電話・FAX)	.....